

SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1

ソフトウェアインストールガイド



本書は SCIEX 機器をご購入され、実際に使用されるお客様にむけてのものです。本書の著作権は保護されています。本書および本書の一部分を複製することは、SCIEX が書面で合意した場合を除いて固く禁止されています。

本書に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供されています。使用許諾契約書で特に許可されている場合を除き、いかなる媒体でもソフトウェアを複製、変更、または配布することは法律で禁止されています。さらに、使用許諾契約書では、ソフトウェアを逆アセンブル、リバースエンジニアリング、または逆コンパイルすることをいかなる目的でも禁止することがあります。正当とする根拠は文書中に規定されているとおりです。

本書の一部は、他の製造業者および/またはその製品を参照することがあります。これらには、その名称を商標として登録しているおよび/またはそれぞれの所有者の商標として機能している部分を含む場合があります。そのような使用は、機器への組み込みのため SCIEX により供給された製造業者の製品を指定することのみを目的としており、その権利および/またはライセンスの使用を含む、または第三者に対しこれらの製造業者名および/または製品名の商標利用を許可するものではありません。

SCIEX の保証は販売またはライセンス供与の時点で提供される明示的保証に限定されており、また SCIEX の唯一かつ独占的な表明、保証および義務とされています。SCIEX は、明示的・黙示的を問わず、制定法若しくは別の法律、または取引の過程または商慣習から生じるかどうかに関わらず、特定の目的のための市場性または適合性の保証を含むがこれらに限定されない、他のいかなる種類の保証も行いません。これらのすべては明示的に放棄されており、購買者による使用またはそれから生じる不測の事態に起因する間接的・派生的損害を含め、一切の責任または偶発債務を負わないものとします。

研究専用。診断手順には使用しないでください。

ここに記載されている商標および / または登録商標は、関連するロゴを含め、米国および / またはその他の特定の国における AB Sciex Pte. Ltd.、またはその該当する所有者の所有物です(sciex.com/trademarks をご覧ください)。

AB Sciex™ はライセンスの下で使用されています。

Echo、Echo MS、および Echo MS+ は、Labcyte, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスの下で使用されています。

© 2023 DH Tech. Dev. Pte. Ltd.



AB Sciex Pte. Ltd.

Blk33, #04-06 Marsiling Industrial Estate Road 3

Woodlands Central Industrial Estate, Singapore 739256

目次

1 はじめに	5
インストールの前に知っておくべき重要な情報.....	5
含まれる機能.....	6
2 要件	7
コンピュータの要件.....	7
Windows の要件.....	8
ネットワーク要件.....	9
ソフトウェアの要件.....	10
ライセンス要件.....	10
互換性のあるシステム.....	10
互換ソフトウェア.....	11
3 インストール方法	13
データフォルダを安全な場所にバックアップ.....	13
SCIEX OS ソフトウェアのインストール.....	13
CAC ソフトウェアのインストール.....	17
ソフトウェアのアップグレード.....	19
SCIEX OS ソフトウェアをバージョン 1.4 から 3.1.6 までのバージョン 3.3.1 にアップグ レード.....	20
旧バージョンの SCIEX OS ソフトウェアからのアップグレード.....	22
Analyst ソフトウェアから移行.....	23
オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール.....	24
SCIEX OS ソフトウェアの以前のバージョンへのダウングレード.....	24
SCIEX OS ソフトウェアを削除.....	25
4 MS FW Updater ユーティリティ	26
5 電子ライセンス	28
サーバーベースのライセンスの有効化.....	28
ノードロックライセンスを有効化.....	28
6 トラブルシューティング	31
SCIEX OS Installation Repair Tool.....	31
インストールのトラブルシューティングのヒント.....	32
インストールのクリーンアップ.....	35
A 質量分析装置のファームウェアバージョン	38

目次

B デバイスとファームウェア	40
C Windows オペレーティングシステム設定	46
Windows Update	46
System Restore	46
カスタマーセキュリティガイダンス: バックアップ	47
User Account Control Settings	47
User Account Control Settings (Windows 10)	47
User Account Control Settings (Windows 7)	48
Region and Language Settings	50
Region の設定 (Windows 10)	50
Language の設定 (Windows 10)	50
Region and Language Settings (Windows 7)	51
ローカル設定	52
D Windows ファイアウォールの構成	54
受信接続の構成	54
発信接続の構成	54
E 展開ツールを使用してソフトウェアをインストールする	56
F SCIEX OS ソフトウェアのドキュメント	58
お問い合わせ先	60
お客様のトレーニング	60
オンライン学習センター	60
SCIEX サポート	60
サイバーセキュリティ	60
ドキュメント	60

このガイドでは、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1、統合垂直アプリケーション、および Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアのインストールに関する情報と手順について説明します。本ガイドには対応している装置 / ファームウェアについての情報に加え、インストールのトラブルシューティングに関するヒントも記載しています。

ソフトウェアの新機能、機能強化、既知の問題については、次のドキュメントを参照:ソフトウェアパッケージに付属のリリースノート。

インストールの前に知っておくべき重要な情報

SCIEX OS ソフトウェアのインストールまたはアップグレードの前に、このガイドをお読みください。

注: アップグレードする前に、SCIEX OS ソフトウェアのデータ フォルダを安全な場所にバックアップしてください。詳細な情報については、次のセクションを参照: [データフォルダを安全な場所にバックアップ](#)。これらのフォルダには、デバイス構成、セキュリティデータ、メソッド、およびバッチが含まれます。

ソフトウェアのインストールを適切に完了できるように、本ガイドの手順を実施する際には必ず以下の点に注意してください。

- SCIEX OS ソフトウェアは、電子ライセンスを使用します。詳細については、次のセクションを参照: [電子ライセンス](#)。
- SCIEX OS ソフトウェアのすべてのバージョンには、有効なソフトウェアライセンスが必要です。これらのライセンスは新たに購入した機器に付属しているほか、SCIEX から別途購入することも可能です。現在のライセンスの有効性についてのご質問、あるいは追加ライセンスの購入については、scieux.com/request-support から SCIEX 販売代理店またはテクニカルサポートまでお問い合わせください。

注: SCIEX OS ソフトウェアのライセンスに加えて、オプションのモジュールおよび機能のライセンスが必要になる場合があります。

- SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 で取得したデータ ファイルは、以前のバージョンの SCIEX OS ソフトウェアでは開くことができません。ただし、以前のバージョンの SCIEX OS ソフトウェアで取得したデータは、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 で開くことができます。
- SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 で作成した定量テーブルは、それ以前のバージョンの SCIEX OS ソフトウェアでは開くことができません。ただし、以前のバージョンの SCIEX OS ソフトウェアで作成された定量テーブルは、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 で開くことができます。
- SCIEX OS ソフトウェアの以前のバージョンでサポートされているすべての装置は、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 で引き続きサポートされます。一部の装置では、ファームウェアのアップグレードが必要になる場合があります。次のセクションを参照: [デバイスとファームウェア](#)。
- SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 は、Web ダウンロード パッケージとして入手できます。DVD が必要な場合は、最寄りの販売代理店にお問い合わせください。

はじめに

- SCIEX OS ソフトウェアを Analyst または Analyst TF ソフトウェアがインストールされているコンピュータにインストールする場合は、インストールを開始する前に、ハードウェア プロファイルを非アクティブ化し、Analyst または Analyst TF ソフトウェアを閉じます。
- SCIEX OS ソフトウェアと他のソフトウェア アプリケーションの互換性の詳細については、次のセクションを参照: [互換ソフトウェア](#)。

含まれる機能

SCIEX OS 3.3.1 ソフトウェアには、ソフトウェアの以前のリリースの機能が含まれています。

コンピュータの要件

SCIEX OS ソフトウェアがインストールされた取得コンピュータ

- サポートされているコンピュータ: 取得コンピュータとしてサポートされている構成は、次のコンピュータのみです。
 - SCIEX ワークステーションまたは Workstation+、以下搭載:
 - Intel Xeon W-2245 プロセッサ (8 コア、16.5 MB キャッシュ、3.9 GHz、4.7 GHz Turbo HT 16.5 MB、155W DDR4-2933、NVIDIA P400 または T400 搭載)
 - 32 GB (2 × 16 GB) DDR4 3200 MHz RDIMM ECC
 - SCIEX Workstation: 2 × 1 TB HDD (RAID1)
 - SCIEX Workstation+: 2 × 2 TB HDD (RAID1)
 - SCIEX Alpha Workstation 2020 は、以下を搭載:
 - Intel Core i5-8500 プロセッサ (6 コア、9 MB キャッシュ、3.0 GHz、4.1 GHz ターボ、HD グラフィックス 630)
 - 32 GB (2 × 16 GB) 2666 MHz DDR4 UDIMM Non-ECC
 - 2 × 2 TB HDD (RAID1)
 - Dell OptiPlex XE2 コンピュータ、下記を装備:
 - Intel Core i5-4570S プロセッサ (クアッドコア、2.90 GHz、6 MB、HD グラフィックス 4600)
 - 32 GB DDR3 1600 MHz SDRAM
 - 2 × 2 TB HDD (RAID1)
- **オペレーティングシステム:** Windows 7 (64 ビット) または Windows 10 (64 ビット)、バージョン 1809 LTSC。英語のオペレーティング システムのみ。
- **Ethernet:** 少なくとも 2 つの Ethernet ポート接続。

注: より新しいコンピュータモデルを使用できる場合があります。最新の情報については、最寄りの販売代理店にお問い合わせください。

SCIEX OS ソフトウェアを備えた処理コンピュータ

処理コンピュータについては、セクションに示すコンピュータの使用をお勧めします: [SCIEX OS ソフトウェアがインストールされた取得コンピュータ](#) ただし、次の表の要件を満たす場合は、別のコンピュータを使用することができます。

要件

表 2-1 : 処理コンピュータの要件

仕様	要件
オペレーティングシステム	Windows 7 (64 ビット) または Windows 10 (64 ビット)、バージョン 1809 LTSC、20H2、または 21H2。英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語のオペレーティングシステムがサポートされています。
プロセッサ	マルチコア (6 以上) プロセッサ (64 ビットサポート)、最小 3 GHz 以上、最小 9 MB のキャッシュ
RAM	8 GB、32 GB 推奨
データストレージ	公称質量システム: 最小 1 TB SSD 正確な質量システム: 最小 2 TB SSD

CAC ソフトウェア

注: SCIEX OS ソフトウェアと同じコンピュータに Central Administrator Console (CAC) ソフトウェアをインストールすることはできません。

CAC ソフトウェアのサーバーとしては、次のセクションに示されているコンピュータの使用をお勧めします: [SCIEX OS ソフトウェアがインストールされた取得コンピュータ](#) ただし、次の表の要件を満たす場合は、別のコンピュータを使用することができます。

表 2-2 : CAC ソフトウェア用サーバーの要件

仕様	要件
オペレーティングシステム	Windows 10 (64 ビット)、バージョン 1809 LTSC、20H2、または 21H2; Windows Server 2019 以降。英語のオペレーティングシステムのみ。
プロセッサ	マルチコア プロセッサ (64 ビット サポート)、3 GHz
RAM	8 GB、32 GB 推奨
データストレージ	最小 1 TB SSD

Windows の要件

- 言語設定: 英語
- 地域設定: 英語、フランス語、ドイツ語
- (推奨) システムの復元: 無効
- Windows Updates: 通知のみ

注: SCIEX OS ソフトウェアは、Federal Information Processing Standards (FIPS) が有効なコンピュータにインストールして使用することができません(システム暗号化: 暗号化、ハッシュ、署名に FIPS 準拠アルゴリズムを使用)。

注: すべての SCIEX コンピュータには、ローカル管理者レベルのアカウント、**abservice** が設定済みです。このアカウントは、SCIEX サービスとテクニカルサポートがシステムのインストール、サービス、サポートのために使用します。このアカウントを削除したり、無効にしたりしないでください。アカウントを削除または無効にしなければならない場合は、SCIEX アクセス用の代替プランを用意し、ローカル FSE に伝えます。

注: コンピュータが SCIEX から提供されていない場合は、.NET Framework 4.x がコンピュータにインストールされていることを確認してください。.NET Framework がインストールされていない場合は、SCIEX OS ソフトウェアをインストールする前に、インストール パッケージに含まれる Install\NDP472-KB4054530-x86-x64-AllOS-ENU.exe ファイルを開きます。

ネットワーク要件

注: ネットワーク取得のネットワーク セキュリティ要件については、次のドキュメントを参照: **ラボ管理者ガイド**。このドキュメントは、SCIEX OS ソフトウェアのインストール パッケージ内の Install\ProductSpecificDocumentation フォルダにあります。

ソフトウェア更新機能

ソフトウェア更新機能には以下の追加要件があります。

- ポート 443 で HTTPS プロトコルを使用する外部接続が有効になっています。
- ファイアウォールにより、SCIEX OS ソフトウェアからアマゾン ウェブ サービス (AWS) に次のようなアウトバウンド通信が送信されます: <https://sciexos.com>。
- Transport Layer Security (TLS) 1.2 以降がインストールされていること。

注: Windows 7 を搭載したコンピュータは、TLS のバージョンが古い場合があります。旧バージョンをアップグレードするには、Microsoft 更新プログラム KB3140245 をインストールします。Windows 10 には TLS 1.2 以降が含まれています。

これらの要件が満たされていることを確認するには、ローカルネットワーク管理者に問い合わせてください。

このバージョンの SCIEX OS ソフトウェアのソフトウェア更新機能は、企業プロキシ サーバーを介したインターネットへの通信をサポートしていません。プロキシ サーバーが使用されている場合、ユーザーがソフトウェア更新ページで**更新を確認**をクリックするとエラーが表示されます。

CAC

Central Administrator Console (CAC) ソフトウェアは、通信に TCP ポート 63333 および 44144 を使用します。

- サーバーは、ポート 63333 での受信トラフィックと、ポート 44144 および 63333 での送信トラフィックを許可します。
- SCIEX OS ソフトウェア搭載したコンピュータは、ポート 63333 と 44144 の受信トラフィックとポート 63333 の送信トラフィックを許可する必要があります。

次のセクションを参照: [Windows ファイアウォールの構成](#)。

ソフトウェアの要件

アナリティクスワークスペースで使用されるレポート テンプレートを作成、開き、編集するには、Microsoft Office 2013、2016、または 2021 (32 ビットまたは 64 ビット) が必要です。

注: これらのレポート テンプレート機能は、Microsoft Office 365 ではサポートされていません。

注: SCIEX OS ソフトウェアは、Microsoft Office 365 を搭載したコンピュータにインストールできません。SCIEX OS ソフトウェアと Microsoft Office 365 が同じコンピュータにインストールされている場合、Microsoft Office 365 を使用して SCIEX OS ソフトウェアでレポートを生成し、開くことができます。

注: LTSB/LTSC Windows 10 オペレーティング システムを搭載した Alpha および SCIEX ワークステーションは、Microsoft Office 365 と互換性がありません。

ライセンス要件

SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 には、有効なライセンス ファイルによるアクティベーションが必要です。ライセンスファイルは、取得や処理など、使用可能な機能とアプリケーションを制御します。CFR、Scout Triggered MRM (stMRM) 取得、Molecule Profiler ソフトウェアなどのオプション機能には、追加のライセンスファイルが必要になる場合があります。

SCIEX OS ソフトウェアでは、ノードロックライセンスとサーバーベースライセンスの両方が利用可能です。Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアでは、ノードロック ライセンスのみが利用可能です。

互換性のあるシステム

以下のシステムは、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 と互換性があります。

表 2-3 : サポートされている質量分析装置とイオン源

質量分析装置	サポートされているイオン源
X500R QTOF または X500B QTOF システム	Turbo V イオン源
ZenoTOF 7600 システム	Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源
SCIEX 4500 システム	Turbo V イオン源
SCIEX 5500 システム	Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源(Micro プローブ)
SCIEX 5500+システム	Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源(Micro プローブ)

表 2-3 : サポートされている質量分析装置とイオン源 (続き)

質量分析装置	サポートされているイオン源
SCIEX 6500 システム	IonDrive Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源 Turbo V イオン源
SCIEX 6500+システム	IonDrive Turbo V イオン源 OptiFlow Turbo V イオン源 Turbo V イオン源
SCIEX 7500 システム	OptiFlow Pro イオン源

互換ソフトウェア

以下のアプリケーションは、Windows 7 および Windows 10 オペレーティングシステム上で SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 に対応しています。

表 2-4 : 互換ソフトウェア

ソフトウェア名前	その他の情報
Biologics Explorer ソフトウェア 1.0、1.1、2.0、3.0、3.1	SCIEX OS ソフトウェアのホームページにあるタイルを使用して、Biologics Explorer ソフトウェア 3.0 および 3.1 にアクセスします。
CloudConnect 1.8	PeakView ソフトウェア 2.2 以降が必要です。
LibraryView ソフトウェア 1.6	SCIEX OS ソフトウェアは、LibraryView ソフトウェア 1.0.x または 1.1 から 1.4 と同じコンピュータにインストールできません。
Molecule Profiler ソフトウェア 1.3.1	Molecule Profiler ソフトウェアは、インストールパッケージの一部です。インストール手順については、次のセクションを参照： SCIEX OS ソフトウェアのインストール 。
MarkerView ソフトウェア 1.4	MarkerView は、インストールパッケージの一部です。インストール手順については、次のセクションを参照： SCIEX OS ソフトウェアのインストール 。
OneOmics スイート 3.4	PeakView ソフトウェア 2.2 以降が必要です。
ProMassProcessor 1.0	—
StatusScope remote monitoring service 2.2、2.2.1、2.2.2	—

要件

注: SCIEX OS ソフトウェアは、Analyst ソフトウェア 1.6.3 以降および Analyst TF ソフトウェア 1.7.1 以降と同じコンピュータにインストールすることもできます。

注: SCIEX OS ソフトウェアは、Analyst ソフトウェア 1.6.2、1.6.3、1.7 以降、および Analyst TF ソフトウェア 1.7.1 以降で取得したデータファイルと互換性があります。

注: SCIEX OS ソフトウェアは、Analyst Device Driver (ADD)、Cliquid、MasterView、または MPX ソフトウェアと同じコンピュータにインストールできません。

注: ソフトウェアをダウンロードするにはインターネットへのアクセスが必要です。インストールにかかる時間を短縮するため、必要なソフトウェアや資料をすべてインストール前にダウンロードしておくことをお勧めします。

データフォルダを安全な場所にバックアップ

SCIEX OS ソフトウェアをアップグレードする前に、ネットワークドライブや DVD などの安全な場所へフォルダをバックアップします。

- **SCIEX OS Data:** このフォルダには、すべてのメソッド、バッチ、データが含まれています。初期設定では、このフォルダは D:\SCIEX OS Data にインストールされています。
- **C:\ProgramData\SCIEX:** このフォルダにはセキュリティおよびデバイス構成データがすべて含まれています。

注: これは隠しフォルダです。表示されない場合、隠れたアイテムを表示するように File Explorer を設定します。

バックアップソフトウェアでロックされたファイルに遭遇した場合、そのファイルは無視します。

注: バックアップは、SCIEX OS ソフトウェアの前のバージョンに戻すために必要です。バックアップがなく、SCIEX OS ソフトウェアの前バージョンを再インストールする場合、全メソッドの再作成とセキュリティの再設定が必要となります。

既存の SCIEX OS Data フォルダの名前は変更しないでください。メソッド、バッチ、データ、定量テーブルへのアクセスを提供するために、SCIEX OS ソフトウェアの新バージョンにも同じ SCIEX OS Data フォルダを使用することを推奨します。

SCIEX OS ソフトウェアのインストール

注: SCIEX OS ソフトウェア 3.1 または 3.1.5 がインストールされているユーザーの場合:

- LibraryView ソフトウェアまたはライブラリ検索機能を使用している場合: アップグレードに関するサポートについては、SCIEX サポートにお問い合わせください。次を参照: sciex.com/request-support。
 - LibraryView ソフトウェアまたはライブラリ検索機能を使用していない場合: SCIEX OS ソフトウェア 3.1 または 3.1.5 を削除します。 [SCIEX OS ソフトウェアを削除](#) を参照してください。次に、この手順に従って SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 をインストールします。
-

インストール方法

前提条件

- SCIEX OS ソフトウェア `SCIEX_OS3.3.lic` ライセンスキーが利用可能であることを確認してください。ライセンスキーは、印刷されたアクティベーション証明書、または SCIEX Now からの電子メールで配布される場合があります。ライセンスキーがない場合は、SCIEX の販売代理店にお問い合わせください。
- Windows Update が動作中の場合は、更新が完了するまで待ちます。
- Windows Update の後に再起動が必要な場合は、インストールを開始する前にコンピュータを再起動します。

注: VC++2008 SP1 MFC セキュリティ再頒布可能パッケージも必要です。このパッケージがインストールされていない場合は、インストール プログラムによってインストールされます。フレンジを取り外さないでください。パッケージを削除すると、SCIEX OS ソフトウェア (ExionLC 2.0 システムの使用時) が正しく動作しなくなります。

この手順を使用して、SCIEX OS ソフトウェアとオプションの統合アプリケーション、MarkerView および Molecule Profiler ソフトウェアをインストールします。

インストール中に、ユーザーはインストールのタイプと、インストールするアプリケーションと機能を選択します。

CAC ソフトウェアのインストールについては、次のセクションを参照: [CAC ソフトウェアのインストール](#)。

注: CAC ソフトウェアは、SCIEX OS インストール パッケージの一部です。ただし、CAC ソフトウェアと SCIEX OS ソフトウェアを同じコンピュータにインストールすることはできません。

注: インストールプログラムは、システムの復元タスクを無効にします。

注: インストールに変更を加えるには、Modify **Modify** オプションをファイル使用する前に SCIEX OS ソフトウェアで装置を非アクティブ化します。次のセクションを参照: [インストールのトラブルシューティングのヒント](#)。

1. 管理者権限を持つ Windows ユーザーとしてコンピュータにログオンします。
2. すべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
3. LibraryView ソフトウェア 1.5 がインストールされている場合は、次の手順を実行します:
 - a. **Start > Control Panel > Programs and Features** をクリックします。

ヒント! コントロール パネル コンポーネントが **Category** で表示されている場合は **Start > Control Panel > Programs > Programs and Features > Uninstall a program** をクリックします。

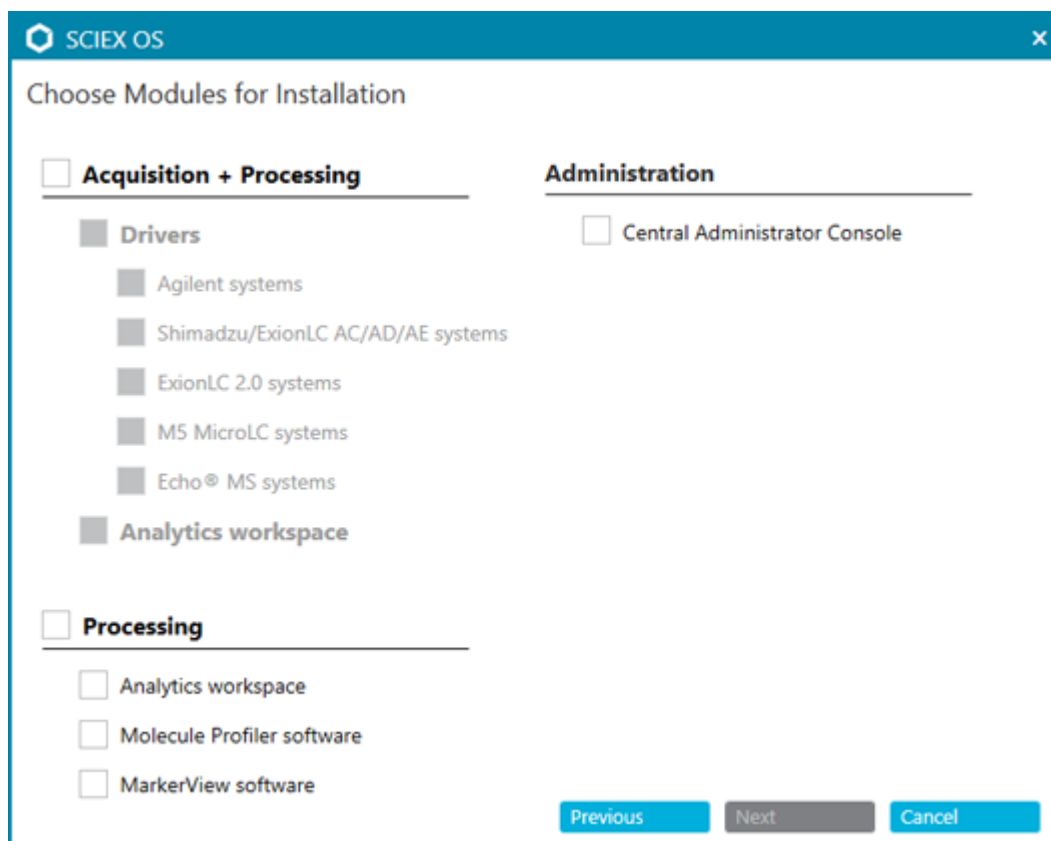
- b. LibraryView ソフトウェアを選択して、**Uninstall** をクリックします。
4. SCIEX OS ソフトウェア 3.1 または 3.1.5 がインストールされている場合は、次の手順を実行します:

- a. **Start > Control Panel > Programs and Features** をクリックします。
 - b. SCIEX OS ソフトウェアを選択して、**Uninstall** をクリックします。
5. LibraryView Framework ソフトウェア 1.5 がインストールされている場合は、次の手順を実行します：
- a. **Start > Control Panel > Programs and Features** をクリックします。
 - b. LibraryView Framework ソフトウェアを選択して、**Uninstall** をクリックします。
6. コンピュータを再起動します。
7. DVD からソフトウェアをインストールするには、DVD ドライブに DVD を入れます。
8. ダウンロードしたファイルからソフトウェアをインストールするには、次の手順を実行します。
- a. sciex.com/software-support/software-downloads から必要な zip ファイルをダウンロードします。

ヒント! インストール時の問題を避けるため、インストールを開始する前に、ファイルはコンピュータのデスクトップ以外の場所に保存し、外部 USB ストレージデバイスをすべて取り外してください。

- b. ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたファイルを右クリックして **Extract All** をクリックし、インストールパッケージを展開します。
9. 取得コンピュータ:ドライバーをインストール：
- X500 QTOF システム: DVD またはインストールパッケージの **Drivers** フォルダを参照し、**xTDC4_driver_v1.1.1.exe** をダブルクリックしてバージョン 1.1.1 をインストールします。
 - ZenoTOF システム: DVD またはインストールパッケージの **Drivers** フォルダを参照し、**ndigo_driver_v1.3.0.exe** ファイルをダブルクリックしてバージョン 1.3.0 をインストールします。
10. DVD またはインストールパッケージの **Install** フォルダで、**Setup.exe** ファイルをダブルクリックします。
11. 画面上の指示に従ってください。
- インストール中に、インストールのタイプとインストールするモジュールを選択するプロンプトが表示されます。
- **Acquisition + Processing**
 - **Processing**
 - **Administration**

図 3-1 : インストールモジュールの選択ダイアログ



注: オプション機能や統合アプリケーションにはライセンスが必要な場合があります。

注: インストールの問題発生を回避するため、ソフトウェアをローカルドライブにインストールします。ソフトウェアをネットワークやリムーバブルドライブにインストールしないでください。

注: インストールの問題を回避するために、インストールフォルダへのパスが 118 文字以下であることを確認してください。それより長い場合、インストールは続行されません。

ヒント! .NET Framework へのアップグレードが必要な場合、インストール中にコンピュータの再起動を求めるプロンプトが表示されます。ユーザーには、すぐに再起動を続行するか、後で再起動を延期するかのオプションがあります。ただし、再起動するまでインストールは続行されません。

インストールが正常に完了しない場合は、SCIEX OS Installation Repair Tool を使用して問題を特定します。次のセクションを参照: [SCIEX OS Installation Repair Tool](#)。

12. コンピュータを再起動します。
13. (オプション)SCIEX OS Installation Confirmation Tool を使用して、ソフトウェアが正しくインストールされたことを確認します。
 - a. SCIEX OS Installation Confirmation Tool で **Start verifying installed files** をクリックします。

- b. 分析が完了したら、**レポートを印刷** をクリックし、プリンタを選択し、**Print** をクリックします。
14. CAC ソフトウェアを使用する場合は、コンピュータ上で Windows ファイアウォールを構成します。次のセクションを参照：[Windows ファイアウォールの構成](#)。
CAC ソフトウェアでの通信には、TCP ポート 63333 および 44144 を使用します。コンピュータは、ポート 63333 と 44144 の受信トラフィックとポート 63333 の送信トラフィックを許可する必要があります。
15. ソフトウェアを開きます。
16. ライセンスキーを使用して、オプション機能や統合アプリケーションなどのソフトウェアを有効化します。次のセクションを参照：[電子ライセンス](#)。

注: サポートされている正確なノミナル質量システム: SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 ライセンスに LibraryView ソフトウェアのライセンスが含まれている場合、LibraryView ソフトウェアは別にインストールする必要があります。

注: SCIEX OS ソフトウェアライセンスに加えて、オプション機能や統合アプリケーションにもライセンスが必要な場合があります。これらの機能を使用する前に、必ずライセンスを取得して有効化してください。

17. (必要に応じて) 取得コンピュータの場合、MS FW Updater を実行して、MS ファームウェアと機器設定テーブルを更新します。次のセクションを参照：[MS FW Updater ユーティリティおよび質量分析装置のファームウェアバージョン](#)。

注: ユーザーに SCIEX OS ソフトウェアへのアクセスを許可するには、ユーザーをセキュリティデータベースに追加します。次のドキュメントを参照：[『ラボ管理者ガイド』](#)またはヘルプ。

CAC ソフトウェアのインストール

前提条件

- CAC ソフトウェアのライセンスキーが使用可能であることを確認します。ライセンスキーは、印刷されたアクティベーション証明書、または SCIEX Now からの電子メールで配布される場合があります。ライセンスキーがない場合は、SCIEX の販売代理店にお問い合わせください。
- Windows Update が進行中の場合は、更新が完了するまで待ちます。
- Windows Update 後に再起動が必要な場合は、インストールを開始する前にコンピュータを再起動してください。

ソフトウェアを DVD からインストールする場合は、必ず正規の SCIEX DVD からソフトウェアをインストールし、インストール後には正しいバージョンがインストールされていることを確認してください。

注: インストールプログラムは、システムの復元タスクを無効にします。

注: インストールに変更を加えるには、**Modify** オプションを使用する前に SCIEX OS ソフトウェアで装置を非アクティブ化します。次のセクションを参照：[インストールのトラブルシューティングのヒント](#)。

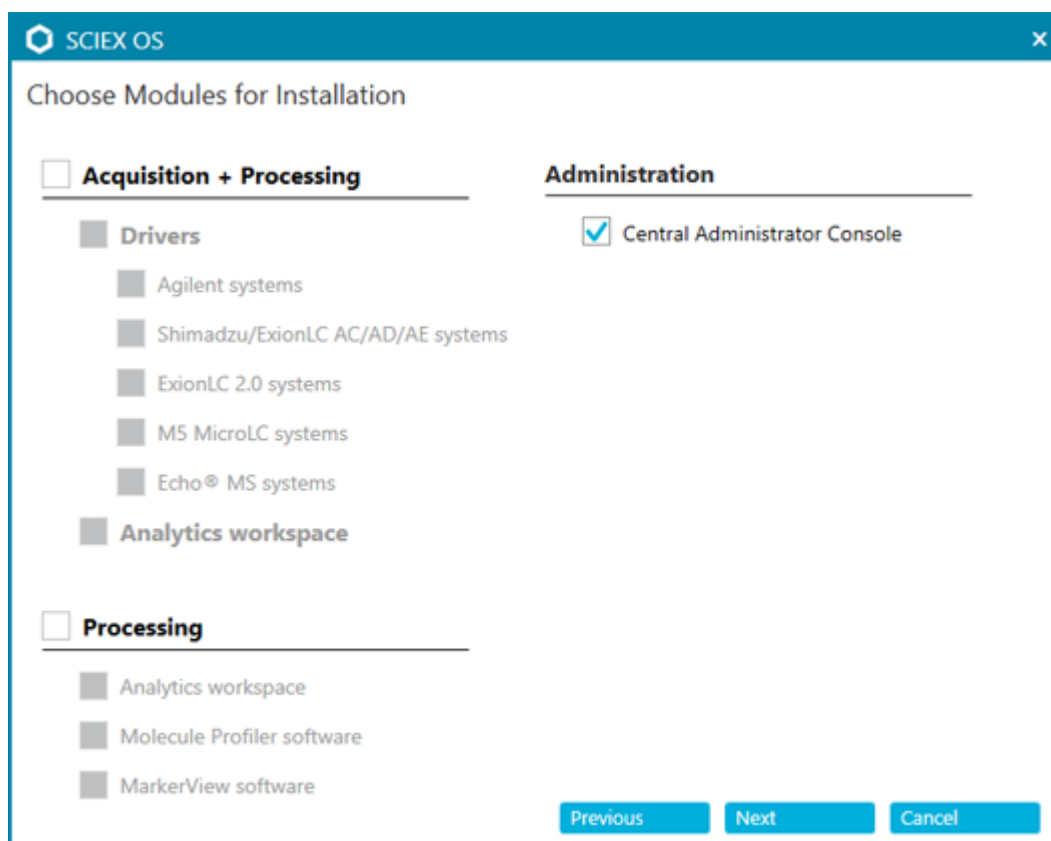
インストール方法

1. 管理者権限を持つ Windows ユーザーとしてコンピュータにログオンします。
2. すべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
3. DVD からソフトウェアをインストールするには、DVD ドライブに DVD をロードします。
4. ダウンロードしたファイルからソフトウェアをインストールするには、次の手順を実行します。
 - a. 必要な.zip ファイルを SCIEX の web サイトからダウンロードします。

ヒント! インストール時の問題を避けるため、インストールを開始する前に、ファイルはコンピュータのデスクトップ以外の場所に保存し、外部 USB ストレージデバイスをすべて取り外してください。

- b. ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたファイルを右クリックして **Extract All** をクリックし、インストールパッケージを展開します。
5. DVD またはインストールパッケージの `Install` フォルダにある `Setup.exe` をダブルクリックします。
 6. 画面上の指示に従ってください。インストールモジュールの選択ダイアログで、**Central Administrator Console** を選択します。

図 3-2 : インストールモジュールの選択



注: インストールの問題発生を回避するため、ソフトウェアをローカルドライブにインストールします。ネットワークやリムーバブルドライブ上にインストールしないでください。

注: インストールの問題を回避するために、インストールフォルダへのパスが 118 文字以下であることを確認してください。それより長い場合、インストールは続行されません。

ヒント! .NET へのアップグレードが必要な場合、インストール中にコンピュータの再起動を求めるプロンプトが表示されます。ユーザーは、再起動をすぐに続行するか、後で再起動を延期するオプションを選択できます。ただし、再起動するまでインストールは続行されません。

インストールが正常に完了しない場合は、SCIEX OS Installation Repair Tool を使用して問題を特定します。次のセクションを参照: [SCIEX OS Installation Repair Tool](#)。

7. プロンプトが表示されたら、ソフトウェアのインストール後にコンピュータを再起動します。

注: 初めてソフトウェアをインストールした後は、プロンプトが表示されなくても、再起動することをお勧めします。ソフトウェアの再インストール後、再起動は必要ありません。

8. (オプション) SCIEX OS Installation Confirmation Tool を使用して、ソフトウェアが正しくインストールされたことを確認します。
 - a. SCIEX OS Installation Confirmation Tool で **Start verifying installed files** をクリックします。
 - b. 分析が完了したら、**レポートを印刷** をクリックし、プリンタを選択し、**Print** をクリックします。
9. CAC サーバーで Windows ファイアウォールを構成します。次のセクションを参照: [Windows ファイアウォールの構成](#)。

CAC)サーバーでの通信には、TCP ポート 63333 および 44144 を使用します。サーバーは、ポート 63333 での受信トラフィックと、ポート 44144 および 63333 での送信トラフィックを許可する必要があります。
10. SCIEX OS ソフトウェアを使用してコンピュータに Windows ファイアウォールを設定します。次のセクションを参照: [Windows ファイアウォールの構成](#)。

CAC)サーバーでの通信には、TCP ポート 63333 および 44144 を使用します。コンピュータは、ポート 63333 と 44144 の受信トラフィックとポート 63333 の送信トラフィックを許可する必要があります。
11. ソフトウェアを開きます。
12. ライセンス キーを使用してソフトウェアをアクティブ化します。次のセクションを参照: [電子ライセンス](#)。
13. CAC ソフトウェアを構成します。次のドキュメントを参照: [CAC ヘルプ](#)。

注: 管理モードは、CAC または SCIEX OS ソフトウェアで変更できます。SCIEX OS ソフトウェアで管理モードを設定する手順については、[SCIEX OS ソフトウェア ヘルプ システム](#)を参照してください。

ソフトウェアのアップグレード

3.3.1 よりも前のバージョンの SCIEX OS からのアップグレードには、ソフトウェアの新規ライセンスが必要になります。

SCIEX OS ソフトウェアをバージョン 1.4 から 3.1.6 までのバージョン 3.3.1 にアップグレード

注: SCIEX OS ソフトウェア 3.1 または 3.1.5 がインストールされているユーザーの場合:

- LibraryView ソフトウェアまたはライブラリ検索機能を使用している場合: アップグレードに関するサポートについては、SCIEX サポートにお問い合わせください。次を参照: sciex.com/request-support。
- LibraryView ソフトウェアまたはライブラリ検索機能が使用されていない場合: この手順を使用して、SCIEX OS ソフトウェア 3.1 または 3.1.5 を削除します。次に、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 をインストールします。次のセクションを参照: [SCIEX OS ソフトウェアのインストール](#)

前提条件

- SCIEX OS ソフトウェアのライセンスキーが使用可能であることを確認します。対象となるお客様は、[SCIEX Now](#) の登録ソフトウェアページでソフトウェアのアップグレードボタンをクリックして、アップグレードライセンスキーを取得することもできます。
- 定量テーブルに IF という名前のカスタム列が含まれている場合は、列名を変更します。
- コンピュータにインストールされているすべての特定業種向けのアプリケーションのバージョンがサポートされていることを確認してください。サポートされているバージョンについては、次のセクションを参照: [互換ソフトウェア](#)。必要に応じて、SCIEX OS ソフトウェアをアップグレードする前に、特定業種向けのアプリケーションを更新します。次のセクションを参照: [オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール](#)。

注: LibraryView ソフトウェアバージョン 1.4 が、SCIEX OS ソフトウェアをアップグレードする前にインストールされていることを確認してください。

- Windows Update が進行中の場合は、更新が完了するまで待ちます。
- Windows Update のアップデート後に再起動が必要な場合は、アップグレードを開始する前にコンピュータを再起動してください。

インストールプログラムは、このバージョンに内蔵されているパッチを警告なしで削除します。これらのサポートのリストについては、次のセクションを参照: [含まれる機能](#)。

SCIEX OS ソフトウェアのインストール中に、**Molecule Profiler** や **アナリティクス** など、インストールするモジュールを選択します。

注: CAC ソフトウェアは、SCIEX OS ソフトウェアのインストール パッケージの一部です。ただし、CAC と SCIEX OS ソフトウェアを同じコンピュータにインストールすることはできません。

注: アップグレード中に、ExionLC 2.0 システム ドライバがコンピュータにインストールされている場合は削除されます。SCIEX OS ソフトウェアをインストールした後、ExionLC 2.0 システム ドライバを再度インストールします。

1. すべてのデバイスを非アクティブ化してから、SCIEX OS を閉じます。

-
2. 他のすべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
 3. C:\ProgramData\SCIEX フォルダをバックアップします。次のセクションを参照: [データフォルダを安全な場所にバックアップ](#)。
 4. SCIEX OS ソフトウェア 1.4 からのアップグレードの場合: 監査証跡機能が使用されている場合、以下の手順を行ってワークステーション監査データを保存します。
 - a. フォルダ、C:\ProgramData\SCIEX に移動して、Audit Data という名前のフォルダを作成します。新しいフォルダに対し、システム、ユーザー、管理者の読み取り/書き込みのアクセス権を付与します。
 - b. フォルダ、SCIEX OS Data\common-project-area\Audit Data に参照し、次のファイルをコピーします。
 - WorkstationAuditMap.atms
 - WorkstationAuditMapTemplates.atms
 - WorkstationAuditTrailData.atds

注: デフォルトでは、SCIEX OS Data は D:\ にインストールされます。

- c. ファイルをフォルダ C:\ProgramData\SCIEX\Audit Data に貼り付けます。
5. 管理者権限を持つ Windows ユーザーとしてコンピュータにログオンします。
6. 取得コンピュータ: 次の手順を実行します。
 - a. 現在インストールされている SCIEX OS ソフトウェアを開きます。
 - b. MS チューンワークスペースを開きます。
 - c. **Positive MS チューニング** をクリックします。
 - d. 左パネルの **チューニング設定の保存** をクリックし、次に **設定を保存** をクリックします。
7. SCIEX OS Data フォルダをバックアップします。次のセクションを参照: [データフォルダを安全な場所にバックアップ](#)。
8. 次のいずれかの操作を行います。
 - ソフトウェアを DVD からインストールする場合は、DVD ドライブに DVD を挿入して、手順 [12](#) に進みます。
 - ダウンロードしたファイルからソフトウェアをインストールする場合は、手順 [9](#) に進みます。
9. 必要な.zip ファイルを SCIEX の web サイトからダウンロードします。

ヒント! インストール時の問題を避けるため、インストールを開始する前に、ファイルはコンピュータのデスクトップ以外の場所に保存し、外部 USB ストレージデバイスをすべて取り外してください。

10. ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたファイルを右クリックして **Extract All** をクリックし、インストールパッケージを展開します。
11. 取得コンピュータ: ドライバをアップグレード:

インストール方法

- X500 QTOF システム: DVD またはインストール パッケージの Drivers フォルダを参照し、xTDC4_driver_v1.1.1.exe をダブルクリックして、旧バージョンの TDC4 ドライバを削除し、バージョン 1.1.1 をインストールします。

12. DVD またはインストールパッケージ内の **Setup.exe** をダブルクリックします。
13. 画面上の指示に従ってください。プロンプトが表示されたら、取り付けるモジュールを選択します。

ヒント! .NET へのアップグレードが必要な場合、インストール中にコンピュータの再起動を求めるプロンプトが表示されます。ユーザーは、再起動をすぐに続行するか、後で再起動を延期するオプションを選択できます。ただし、再起動するまでインストールは続行されません。

アップグレードが正常に完了しない場合は、SCIEX OS Installation Repair Tool を使用して問題を特定します。次のセクションを参照: [SCIEX OS Installation Repair Tool](#)。

14. (オプション) SCIEX OS Installation Confirmation Tool を使用して、ソフトウェアが正しくインストールされたことを確認します。
 - a. SCIEX OS Installation Confirmation Tool で **Start verifying installed files** をクリックします。
 - b. 分析が完了したら、**レポートを印刷** をクリックし、プリンタを選択し、**Print** をクリックします。
15. 取得コンピュータの場合、必要に応じて、MS FW Updater ユーティリティを実行して、質量分析装置のファームウェアと構成テーブルを更新します。次のセクションを参照: [MS FW Updater ユーティリティ](#)。
サポートされているファームウェアバージョンについては、次のセクションを参照: [質量分析装置のファームウェアバージョン](#)。
16. 必要に応じて、ExionLC 2.0 システムドライバをインストールします。

旧バージョンの SCIEX OS ソフトウェアからのアップグレード

バージョン 1.4 よりも前のバージョンの SCIEX OS ソフトウェアからアップグレードするには、旧バージョンの SCIEX OS ソフトウェアをアンインストールしてから新しいバージョンをインストールします。

1. すべてのデバイスを非アクティブ化してから、SCIEX OS を閉じます。
2. 他のすべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
3. C:\ProgramData\SCIEX フォルダをバックアップします。次のセクションを参照: [データフォルダを安全な場所にバックアップ](#)。
4. Windows Apps & features コントロール パネルで、SCIEX OS ソフトウェアを削除します。
5. SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 をインストール次のセクションを参照: [SCIEX OS ソフトウェアのインストール](#)。
6. 特定業種向けのアプリケーションをアップグレードします。次のセクションを参照: [オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール](#)。

Analyst ソフトウェアから移行

前提条件

- [SCIEX Now Learning Hub](#) で入手可能な SCIEX OS eLearning を完了します。
- 取得コンピュータが SCIEX OS ソフトウェアの要件を満たしていることを確認します。
- SCIEX OS ソフトウェアのライセンスを購入します。

SCIEX 4500、5500、5500+、6500、および 6500+ システムからデータを収集するために Analyst ソフトウェアを使用しているお客様は、SCIEX から入手可能な新しい質量分析ソフトウェアである SCIEX OS ソフトウェアにアップグレードできます。オンサイト アップグレード サービスは、SCIEX から利用できます。詳細については、営業担当者またはフィールド サービスエンジニア (FSE) にお問い合わせください。

注: SCIEX は、Analyst と SCIEX OS ソフトウェアの両方を使用して同じ質量分析装置からデータを取得するワークフローをサポートしていません。

1. SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 をインストールします。次のセクションを参照: [SCIEX OS ソフトウェアのインストール](#)。
2. Instrument Settings Converter を使用して、質量分析装置の設定を Analyst ソフトウェアから SCIEX OS ソフトウェアにインポートします。次のドキュメントを参照: *Instrument Settings Converter リリースノート*

ヒント! リリースノートは、SCIEX OS ソフトウェアのインストール パッケージ内の Instrument Settings Converter フォルダにあります。

注: SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 のインストール パッケージで提供される Instrument Settings Converter のバージョンを使用してください。

3. MS メソッド SCIEX OS ワークスペースで、**開く > ファイルの変換**をクリックします。
4. Analyst ソフトウェアで作成された MS メソッドをインポートし、SCIEX OS ソフトウェアの形式に変換します。

注: MS メソッド情報のみが変換されます。LC メソッドは、SCIEX OS ソフトウェアで手動で作成する必要があります。

5. SCIEX OS ソフトウェアで転送された設定が正しいことを確認します。

ヒント! MS チューンワークスペースの **MS スキャンチューニング手順**で **MS スキャンを確認**オプションを使用して、設定を確認します。インストールされている制御ソフトウェアに関わらず、予測結果は同じになります。

オプションの特定業種向けのアプリケーションのインストール

統合アプリケーション、MarkerView および Molecule Profiler ソフトウェアは、SCIEX OS ソフトウェアとともにインストールされます。手順については、次のセクションを参照: [SCIEX OS ソフトウェアのインストール](#)。

注: これらのアプリケーションは、別のライセンスファイルを使用して有効化されます。

SCIEX OS ソフトウェアのインストール後、次のアプリケーションをインストールします。

- Biologics Explorer ソフトウェア
- LibraryView ソフトウェア

注: サポートされているバージョンについては、次のセクションを参照: [互換ソフトウェア](#)。

注: 新しいバージョンのアプリケーションが利用可能な場合は、sciex.com/request-support に連絡してソフトウェアの互換性を確認してください。

前提となる手順

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">• SCIEX OS ソフトウェアのインストール |
|--|

- SCIEX OS ソフトウェアが閉じていることを確認してから、オプションのアプリケーションをインストールします。

注: 手順については、オプションのアプリケーションのドキュメントを参照: *Biologics Explorer* ソフトウェア リリース ノートまたは *LibraryView* ソフトウェアインストールガイド。

SCIEX OS ソフトウェアの以前のバージョンへのダウングレード

SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 から SCIEX OS ソフトウェア 1.6.1 以降にダウングレードするには、この手順を実行します。SCIEX OS ソフトウェアの旧バージョンにダウングレードするには、sciex.com/request-support にお問い合わせください。

1. Windows Apps & features コントロール パネルで、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 を削除します。
2. 2014 年から 2019 年までのすべての Microsoft C++ 再頒布可能パッケージを削除します。
3. SCIEX OS ソフトウェアの以前のバージョンをインストールします。

注: インストールに失敗した場合は、クリーンアップの手順を実行してください。次のセクションを参照: [インストールのクリーンアップ](#)。

SCIEX OS ソフトウェアを削除

前提条件

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">あらゆるホットフィックスの削除 |
|---|

1. 管理者権限を持つユーザーとしてコンピュータにログオンします。
2. **Start > Control Panel > Programs and Features** をクリックします。

ヒント! コントロール パネル コンポーネントが **Category** で表示されている場合は **Start > Control Panel > Programs > Programs and Features > Uninstall a program** をクリックします。

3. **SCIEX OS** を選択し、**Uninstall** をクリックします。

ソフトウェアが削除されます。ユーザーの介入は必要ありません。

注: ライセンスファイルは削除されず、SCIEX OS ソフトウェアを再度インストールすると使用できます。

SCIEX OS ソフトウェアでは、サポートされているファームウェアバージョンが接続された質量分析装置にインストールされている必要があります。このユーティリティを使用して、質量分析装置のファームウェアバージョンをアップグレードします。

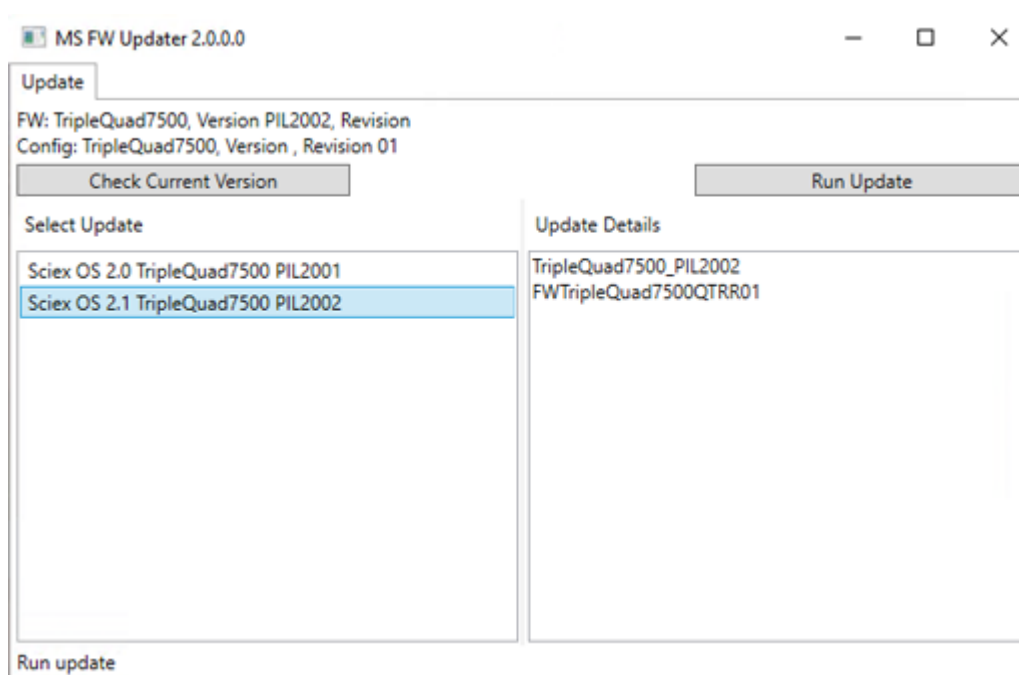
サポートのリストについては、次のセクションを参照：[質量分析装置のファームウェアバージョン](#)。

前提条件

- SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 以降がインストールされている。
- 質量分析装置は、装置ワークスペースでアクティブである。
- コンピュータが、質量分析装置に接続されている。
- ユーザーは、Windows では管理者として、また SCIEX OS ソフトウェアのユーザー データベースでは管理者としてログオンしています。

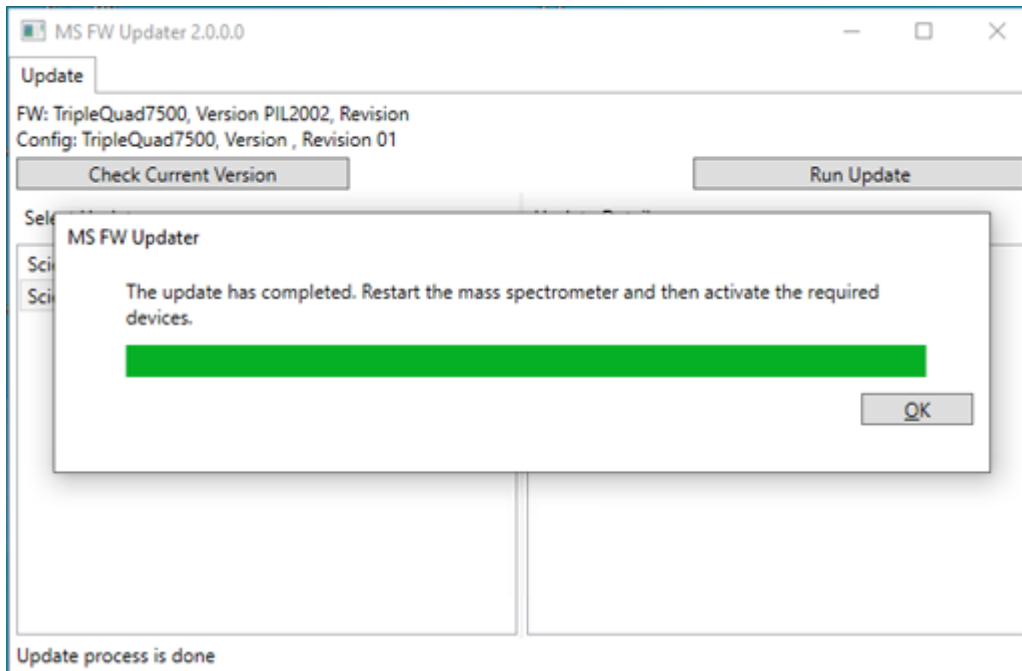
1. すべてのデータ取得を停止してから、キューをクリアします。
キューに待機中のサンプルがないことを確認します。
2. SCIEX OS ソフトウェアを閉じます。
3. SCIEX OS ソフトウェアのインストール パッケージで、`\FirmwareUpdater\フォルダ`を参照し、`MS FW Updater.exe` ファイルをダブルクリックします。

図 4-1 : MS FW Updater ユーティリティ



4. **Select Update** リストで、質量分析装置とソフトウェアのバージョンを選択します。
5. **Run Update** をクリックして、画面上の指示に従います。

図 4-2 : MS FW Updater 進捗バー



6. 更新が完了したら、進捗バーの **OK** をクリックして、ユーティリティを閉じます。

注: SCIEX OS ソフトウェアのイベントログは、ファームウェアが正常に更新されたことを示します。

7. 30 秒待ち、質量分析装置を再起動します。次のドキュメントを参照: システムユーザーガイド。
8. SCIEX OS ソフトウェアを開き、構成ワークスペースの装置ページを開きます。質量分析装置はリストから削除されています。
9. 装置リストに質量分析装置を追加してから、必要な装置を有効化します。

MS FW Updater ユーティリティを使用すると、SCIEX OS ソフトウェアの旧バージョンでサポートされているファームウェアバージョンに戻すことができます。Firmware Updater ユーティリティを再度起動し、必要なバージョンを選択して、**Run Update** をクリックします。

注: X500 QTOF システム: MS FW Updater は、バージョン 1.2 より前の SCIEX OS ソフトウェアバージョンでサポートされているファームウェアバージョンに戻すことはできません。旧バージョンに戻すには、sciex.com/request-support にお問い合わせください。

注: SCIEX 7500 システム: MS FW Updater は、SCIEX OS ソフトウェアバージョン 2.0 より旧バージョンでサポートされているファームウェアバージョンに戻すことはできません。SCIEX OS ソフトウェアの以前のバージョンは、SCIEX 7500 システムをサポートしていません。

SCIEX OS ソフトウェアでは、取得と処理ワークステーション両方のノードロックライセンスをサポートしています。ノードロックライセンスは、1 台のコンピュータでしか使用できません。サーバーベースのライセンスは、処理ワークステーションのみ対応しています。SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 とオプションの機能およびアプリケーションのライセンス ファイルを、SCIEX OS ソフトウェアがインストールされているコンピュータの C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS フォルダにインストールします。

注: Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアでは、ノードロック ライセンスのみがサポートされています。

注: コンピュータの日時を変更する場合は、ライセンスを有効化する前に実施しないと、ソフトウェアが動作しない場合があります。

注: ライセンス ファイルを編集すると無効になり、復元できなくなります。

サーバーベースのライセンスの有効化

注: この手順は、Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアには適用されません。

サーバーベースのライセンスについては、IT 部署に連絡して次のタスクを実行してください。

1. ライセンスサーバーを設定します:
 - a. IT 部門に `License-Server-Setup.zip` ファイルのダウンロードを依頼します。
sciex.com/software-support/software-downloads に移動し、**Additional Downloads > License Server Setup > ライセンスサーバー設定ソフトウェア** をクリックします。
 - b. ダウンロードしたパッケージに付属している *License Server Setup Guide* の指示に従ってください。
2. クライアントコンピュータ用のライセンスファイルを作成します。
3. SCIEX OS ソフトウェアがインストールされている各クライアント コンピュータにライセンス ファイルをインストールします。

ノードロックライセンスを有効化

前提条件

- ライセンスキーが必要です。

1. デスクトップで、SCIEX OS

5. **装置を選択**フィールドで、必要な情報を選択して入力します。

注: 処理ワークステーションのノードロックライセンスを有効化するには、SCIEX 機器のシリアル番号を使用します。機器のシリアル番号が利用できない場合は、SCIEX サポート (sciex.com/contact-us)にご連絡ください。

6. 別のコンピュータ上の SCIEX OS のライセンスを有効化する場合は、コンピュータ ID に、そのコンピュータをネットワークに接続するために使用するネットワークポートの MAC アドレスを入力します。ライセンスキーも入力します。
7. **送信**をクリックします。
ライセンス ファイルを含む電子メールが送信されることを示すメッセージが表示されます。
8. 電子メールを受信したら、付属のライセンスファイルを
C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS フォルダに保存します。
9. **SCIEX NowWeb** ページを使用して、CFR、Scout Triggered MRM (stMRM) 取得、Central Administrator Console (CAC)ソフトウェア、Molecule Profiler ソフトウェアなどのオプション機能とアプリケーションのライセンスを取得し、有効化します。詳細については、sciex.com/request-support のテクニカル サポートにお問い合わせください。



SCIEX OS Installation Repair Tool

前提条件

- SCIEX OS ソフトウェアのインストールを修復: インストールプログラム (Install/Setup.exe) を起動し、**Repair** オプションを選択します。

修復が正常に完了しない場合は、次の手順を実行します。

注: SCIEX OS Installation Repair Tool は、Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアのインストールには使用できません。

1. インストールのステータスを表示するには、SCIEX OS ソフトウェアのインストールパッケージで Installation Repair Tool フォルダを参照し、Sciex.Installer.Repair.exe をダブルクリックします。
 - インストール済み SCIEX モジュールのリストでは、正常にインストールされたモジュールには緑色のチェックマーク () が付けられ、インストールされなかったモジュールには赤色の× () が付けられます。インストール時に選択したモジュールは、すべて合格と表示されるはずですが。
 - SCIEX OS 前提条件ペインのインストーラーパッケージタブで、赤いテキストで表示されたパッケージはインストールされていないか、バージョンが正しくありません。
 - サブシステム コンポーネントペインのインストーラーパッケージタブで、赤いテキストで表示されたサブシステムはインストールされていないか、バージョンが正しくありません。
2. SCIEX OS Installation Repair Tool を閉じます。
3. Windows アプリと機能のコントロールパネルで、次のアプリケーションが存在する場合は、この順序で削除します。
 - LibraryView ソフトウェア
 - SCIEX OS ソフトウェア
 - LibraryView Framework
 - Microsoft Access データベースエンジン
 - レポーター
4. 該当する場合は、すべての SQL サーバー アプリケーションを削除します。

注: 既存のライブラリで使用されている場合は、SQL サーバー アプリケーションを削除しないでください。

トラブルシューティング

SCIEX OS ソフトウェア 1.6.1 以降のバージョンからの新規インストールおよびアップグレードの場合、次のアプリケーションを削除します：

- Microsoft SQL Server 2008 セットアップサポートファイル
- Microsoft SQL Server 2012 (64 ビット)
- Microsoft SQL Server 2012 ネイティブクライアント
- Microsoft SQL Server 2012 セットアップ (英語)
- Microsoft SQL Server 2012 Transact_SQL ScriptDom
- Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 ENU
- Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 x64 ENU
- SQL Server Browser for SCL Server 2012
- Microsoft VSS Writer for SQL Server 2012

SCIEX OS ソフトウェア 1.5 以前のバージョンからアップグレードする場合は、次のアプリケーションを削除します：

- Microsoft SQL Server 2008 R2 (64 ビット)
- Microsoft SQL Server 2008 R2 ネイティブクライアント
- Microsoft SQL Server 2008 R2 セットアップ (英語)
- Microsoft SQL Server 2008 R2 セットアップファイル
- Microsoft SQL Server Browser
- Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 ENU
- Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 x64 ENU
- Microsoft SQL Server VSS Writer

5. コンピュータを再起動します。
6. SCIEX OS Installation Repair Tool を開きます。
7. **Clean up SCIEX OS** ボタンがアクティブになっている場合は、クリックします。
8. クリーンアップが完了したら、SCIEX OS Installation Repair Tool を閉じます。
9. SCIEX OS ソフトウェアをインストールします。次のセクションを参照：[SCIEX OS ソフトウェアのインストール](#)または [CAC ソフトウェアのインストール](#)。
10. 問題を解決できない場合は、次のセクションの指示に従ってください：[インストールのクリーンアップ](#)。

インストールのトラブルシューティングのヒント

注: この手順のソフトウェアは、Central Administrator Console (CAC)または SCIEX OS ソフトウェアのいずれかです。

エラーまたは警告メッセージ	考えられる原因	対策
インストールを完了できませんでした。次の図を参照: 図 6-1。	さまざまな原因が考えられます。	次のセクションの手順を実行します: インストールのクリーンアップ 。
Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージのインストールされているバージョンは、SCIEX OS ソフトウェアで検証されていません。次の図を参照: 図 6-2。	コンピュータにインストールされている Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージのバージョンが、ソフトウェアと共に配布されているバージョンよりも新しいです。	このコンピュータを取得に使用する場合は、警告メッセージに表示されている Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージのバージョンを削除してから、ソフトウェアを再度インストールしてください。このコンピュータを処理にのみ使用する場合は、操作は必要ありません。
Microsoft.Practices.Prism.Regions.UpdateRegions 例外: 領域オブジェクトの作成中に例外が発生しました。	コンピュータにインストールされているこのバージョンの LibraryView コンピュータにインストールされている Framework は、ソフトウェアと互換性がありません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソフトウェアを削除します。 2. LibraryView Framework を削除します。 3. C:\ProgramData\SCIEX の名前を C:\ProgramData\SCIEX_Removed に変更します。 4. ソフトウェアをインストールします。
Setup.exe - .NET Framework の初期化エラー。次の図を参照: 図 6-3。	NET Framework バージョン 4.x がインストールされていません。	インストールパッケージに含まれている Install/NDP472-KB4054530-x86-x64-AllOS-ENU.exe を実行して、.NET Framework をインストールします。
インストールプログラムの Modify オプションでインストールを変更すると、ソフトウェアが起動しません。	装置が有効なときにソフトウェアがインストールされました。	<p>この問題を回避するには、Modify オプションを使用する前に、すべての装置を非アクティブにします。</p> <p>問題が発生した場合は、ファイルを削除します: C:\ProgramData\SCIEX\Clearcore2.Acquisition\HardwareProfile.hwp このファイルを削除すると、ソフトウェアは正常に開きます。</p>

図 6-1 : インストールエラー(例)



図 6-2 : Microsoft Visual C++再頒布可能パッケージエラー

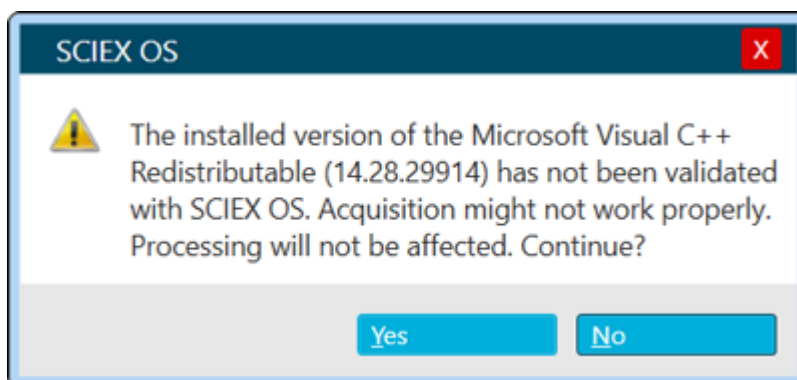
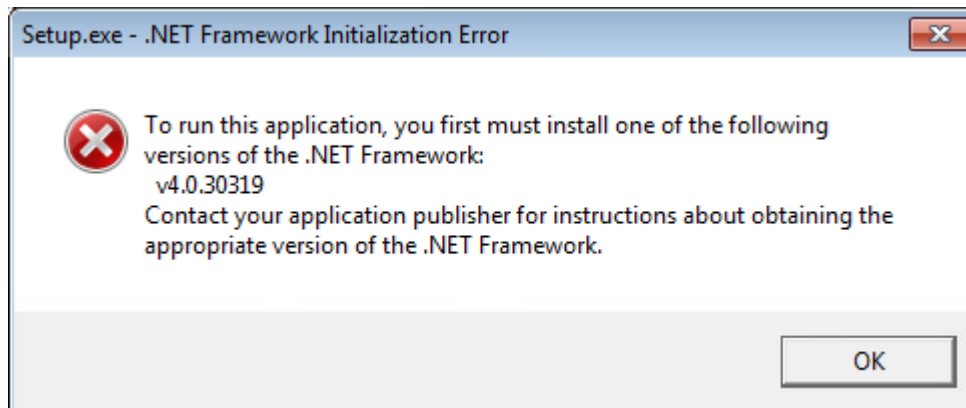


図 6-3 : .NET Framework の初期化エラー



インストールのクリーンアップ

SCIEX OS Installation Repair Tool がクリーンアップを完了できなかった場合は、この手順を使用してインストールのクリーンアップを実行します。次のセクションを参照: [SCIEX OS Installation Repair Tool](#)。

1. 次のアプリケーションがインストールされている場合は、Windows の [アプリと機能] コントロール パネルで、次の順序でアプリケーションを削除します。
 - LibraryView ソフトウェア
 - SCIEX OS ソフトウェア
 - LibraryView Framework
 - Microsoft Access データベースエンジン
 - レポーター
2. 該当する場合は、すべての SQL サーバー アプリケーションを削除します。

注: SQL サーバー アプリケーションがアクティブなライブラリで使用されている場合は、アプリケーションを削除しないでください。

新規インストールおよび SCIEX OS ソフトウェア 1.6.1 以降のバージョンからのアップグレードの場合は、次のアプリケーションを削除します。

- Microsoft SQL Server 2008 セットアップサポートファイル
- Microsoft SQL Server 2012 (64 ビット)
- Microsoft SQL Server 2012 ネイティブクライアント
- Microsoft SQL Server 2012 セットアップ (英語)
- Microsoft SQL Server 2012 Transact_SQL ScriptDom
- Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 ENU
- Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 x64 ENU
- SQL Server Browser for SCL Server 2012

トラブルシューティング

- Microsoft VSS Writer for SQL Server 2012

SCIEX OS ソフトウェア 1.5 以前のバージョンからアップグレードする場合は、次のアプリケーションを削除します：

- Microsoft SQL Server 2008 R2 (64 ビット)
- Microsoft SQL Server 2008 R2 ネイティブクライアント
- Microsoft SQL Server 2008 R2 セットアップ (英語)
- Microsoft SQL Server 2008 R2 セットアップファイル
- Microsoft SQL Server Browser
- Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 ENU
- Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 x64 ENU
- Microsoft SQL Server VSS Writer

3. 次のフォルダにあるすべての SQL サーバーファイルをバックアップしてから削除します。

- SCIEX OS ソフトウェア 1.6.1 以降：
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL11.sqlexpress\MSSQL\Data
- SCIEX OS ソフトウェア 1.5 以前：
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.1\MSSQL\Data または
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL10-50.sqlexpress\MSSQL\Data

4. Windows の [アプリと機能] コントロール パネルで、Microsoft Windows の更新プログラム (KB4054590) を削除します。

これは .NET Framework 4.7.2 です。

5. 該当する場合は、Windows の [アプリと機能] コントロール パネルで、次のソフトウェアを削除します。

- BPV Flex ソフトウェア
- BioPharmaView ソフトウェア
- MetabolitePilot ソフトウェア

注: これらのアプリケーションは SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 でサポートされていません。

6. 次のフォルダをバックアップしてから削除します。

- C:\Program Files\SCIEX\LibraryView
- C:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS
- D:\SCIEX OS Data

7. C:\ProgramData\SCIEX フォルダをバックアップしてから削除します。

8. コンピュータを再起動します。

9. Windows サービスのコントロールパネルを開き、リストに SQL サービスまたは LibraryViewHost サービスがないことを確認します。
10. ClearCore2 サービスが Windows サービスのコントロールパネルにある場合は、コマンドプロンプトウィンドウを開き、次のコマンドを入力して、**入力**を押します：
sc「Clearcore2.Service.exe」の削除
11. ソフトウェアを再インストールします。該当する場合は、プロンプトが表示されたらコンピュータを再起動します。
12. ソフトウェアのインストール後、次のファイルをバックアップから復元します。
 - C:\ProgramData\SCIEX\Clearcore2.Acquisition
 - C:\ProgramData\SCIEX\Clearcore2.Client
 - C:\ProgramData\SCIEX\MassSpec\InstrumentData\Current.dat
 - C:\ProgramData\SCIEX\MassSpec\InstrumentData\Current_Backup.dat

質量分析装置のファームウェアバージョン

A

注: SCIEX Triple Quad と QTRAP システムの場合、システムに取り付けられている計測器コントローラボード (ICB) のバージョンによって、サポートされるファームウェアと構成テーブルのバージョンが制御されます。

質量分析装置	ファームウェアバージョン	Configuration Table のバージョン
LT-ICU1 を備えた X500R QTOF システム	ATLAS_QTOF_ICX_v0_r04	CONFIG_X500R_v0_r05
LT-ICU2 を備えた X500R QTOF システム	AION_X500_ICX64_v2_r01	CONFIG_X500R_v2_r01
LT-ICU1 を備えた X500B QTOF システム	ATLAS_QTOF_ICX_v0_r04	CONFIG_X500B_v0_r04
LT-ICU2 を備えた X500B QTOF システム	AION_X500_ICX64_v2_r01	CONFIG_X500B_v2_r01
ZenoTOF 7600 システム	AION_QTOF_ICX_v0_r05	CONFIG_Zeno-TOF-7600 ICX2_v0_r07
SCIEX Triple Quad 4500 システム	TripleQuad4500_PIL2007	FWTripleQuad4500R22
QTRAP 4500 システム	QTrap4500_PIL2007	FWQTrap4500R21
SCIEX Triple Quad 5500 システム	TripleQuad5500_PIL2007	FWTripleQuad5500R08
QTRAP 5500 システム	QTrap5500_PIL2007	FWQTrap5500R07
SCIEX Triple Quad 5500+ システム	TripleQuad5500+_PIL2007	FWTripleQuad5500+R02
SCIEX Triple Quad 6500 システム	TripleQuad6500_PIL2007	FWTripleQuad6500R05
QTRAP 6500 システム	QTrap6500_PIL2007	FWQTrap6500R04

質量分析装置	ファームウェアバージョン	Configuration Table のバージョン
オイルシール式粗引きポンプを備えた SCIEX Triple Quad 6500+システム	TripleQuad6500+_PIL2007	FWTripleQuad6500+R04
乾燥式粗引きポンプを備えた SCIEX Triple Quad 6500+システム	TripleQuad6500+_PIL2007	FWTripleQuad6500+R31
オイルシール式粗引きポンプを備えた QTRAP 6500+システム	QTrap6500+_PIL2007	FWQTrap6500+R03
乾燥式粗引きポンプを備えた QTRAP 6500+システム	QTrap6500+_PIL2007	FWQTrap6500+R31
SCIEX 7500 7500 システム	TripleQuad7500+_PIL2007	FWTripleQuad7500QTRR03

デバイスとファームウェア

B

SCIEX OS ソフトウェア 2.1.53.3.1 は、以下の表に記載された装置をサポートしています。

ほとんどの場合、装置メーカーからの最新ソフトウェアバージョンは、SCIEX OS ソフトウェア 3.3.1 とともに動作します。問題が発生した場合、装置のファームウェアをこの表に記載されたバージョンに変更してください。ファームウェアの検証またはアップグレードについては、装置メーカーから提供されたドキュメントを参照するか、SCIEX フィールドサービスエンジニア (FSE) にお問い合わせください。装置のインストールと構成については、次のドキュメントを参照：装置セットアップガイド

注: Waters ACQUITY UPLC システムのドライバについては、Waters サポートにお問い合わせください。

注: Thermo マルチチャンネル LC システムのドライバについては、Thermo サポートにお問い合わせください。

表 B-1 : Echo[®] MS システム

装置コンポーネント	ファームウェア
Echo [®] MS モジュール ¹	1.2

表 B-2 : M5 MicroLC システム

装置コンポーネント	テスト済みのファームウェアまたはソフトウェア
M5 MicroLC SCIEX OS Driver ²	1.0
Eksigent Control ソフトウェア	4.3
LC ポンプ	2.48
CTC PAL3 オートサンプラー	2.4.18031.1655

表 B-3 : ExionLC 2.0 システム

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア	必要な通信ケーブル
LPG Pump	LPGP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump	BP-200	1.07	Ethernet
Binary Pump+	BP-200+	1.01	Ethernet
Autosampler	AS-200	1.22	Ethernet
Autosampler+	AS-200+	1.22	Ethernet

¹ ファームウェアのアップグレードが必要な場合は、FSE にお問い合わせください。

² Analyst ソフトウェアから SCIEX OS への移行については、FSE にお問い合わせください。

表 B-3 : ExionLC 2.0 システム (続き)

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア	必要な通信ケーブル
Column Switching (バルブ駆動)	DR-200	6.20	Ethernet
カラムオープン	CO-200	2.02	Ethernet
Multiwavelength Detector	MWD-200	1.11	Ethernet
Diode Array Detector	DAD-200	1.11	Ethernet
Diode Array Detector - HS	DADHS-200	1.24	Ethernet
Wash System	WS-200	1.14	Ethernet

表 B-4 : ExionLC AC/ExionLC AD システム

周辺装置	テスト済みのファームウェア(その他のファームウェア ³⁾)	必要な通信ケーブル
ExionLC Controller	3.61 (2.0, 3.01, 3.40)	Ethernet
ExionLC AC Pump	5.001 (2.04)	光ファイバー
ExionLC AC Autosampler	5.00 (2.05, 3.12)	光ファイバー
ExionLC AC カラムオープン	3.21	光ファイバー
ExionLC AD Pump	3.30 (2.04, 3.11, 3.21)	光ファイバー
ExionLC AD Autosampler	3.15 (3.12)	光ファイバー
ExionLC AD Multiplate Sampler	3.30 (3.15)	光ファイバー
ExionLC PDA Detector	4.02	Ethernet ⁴
ExionLC UV Detector	2.03	光ファイバー
ExionLC Rack Changer	2.0	光ファイバー
ExionLC Degasser	該当なし	該当なし
ExionLC Solvent Selection Valve	該当なし	該当なし

³ テストは行っていませんが、動作する見込みです。

⁴ PDA 検出器には、システムコントローラと取得コンピュータに接続するためにスイッチングハブが必要です。次のドキュメントを参照: *SCIEX OS Devices Setup Guide*。

表 B-5 : Agilent 1290 Infinity および Infinity II の装置

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア(その他のファームウェア ³⁾)	必要な通信ケーブル
1290 Infinity 装置			
Binary pump	G4220A	B.06.73, A.06.73, B.07.01)	Ethernet または CAN
標準オートサンプラー	G4226A	(A.07.01, A.06.54, A.07.01)	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
カラムコンパートメント	G1316C	(A.07.01, A.06.53)	CAN
DAD	G4212A	A.06.73, B.06.30	Ethernet
1290 Infinity II 装置			
高速ポンプ	G7120A	(B.07.10)	CAN または Ethernet
フレキシブルポンプ	G7104A	(B.07.10)	CAN または Ethernet
Vialsampler	G7129B	(B.07.10)	CAN
マルチサンプラー	G7167B	(D.07.17)	CAN または Ethernet
マルチカラムサーモスタット	G7116B	D.07.10	CAN
DAD	G7117B	D.07.23、D.07.10	Ethernet

表 B-6 : Agilent 1260 Infinity II 装置

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア(その他のファームウェア ³⁾)	必要な通信ケーブル
Infinity II 装置			
フレキシブルポンプ	G7104C	(B.07.25)	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
Binary pump	G7112B	D07.33	CAN または Ethernet
クォータナリポンプ	G7111B	D.07.24	CAN または Ethernet
バイオイナートポンプ	G5654A	(D.07.13)	CAN または Ethernet
Vialsampler	G7129C	(D.07.26)	CAN
マルチサンプラー	G7167A	(D.07.16)	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN

表 B-6 : Agilent 1260 Infinity II 装置 (続き)

周辺装置	モデル	テスト済みのファームウェア(その他のファームウェア ³⁾)	必要な通信ケーブル
バイオイナートマルチサンプラー	G5668A	(D.07.16)	Ethernet、またはシステムに DAD が付いている場合は CAN
マルチカラムサーモスタット	G7116A	D.07.13, D.07.16	CAN
DAD	G7117C	D.07.10	Ethernet
DAD WR	G7115A	D.07.25	Ethernet
FLD スペクトル(バイオイナート)	G7121B	D.07.25	Ethernet

表 B-7 : Shimadzu 装置

周辺装置	テスト済みのファームウェア(その他のファームウェア ³⁾)	必要な通信ケーブル
CBM-20 A、Ethernet スイッチ付き(システムコントローラ、8つの光ファイバーポート付き)	3.61(2.81, 3.01, 3.11, 3.31)	Ethernet
CBM-40 システムコントローラ	1.30(0.31)	Ethernet
CBM-40 Lite システムコントローラ	1.30	Ethernet
SCL-40 システムコントローラ	1.30	Ethernet
SIL-20ACXR オートサンプラー	2.05 (1.20、1.22、1.23、1.25)	光ファイバー
SIL-30AC オートサンプラー	3.12	光ファイバー
SIL-30ACMP オートサンプラー	3.21(3.15)	光ファイバー
SIL-40 オートサンプラー	1.05	光ファイバー
SIL-40C オートサンプラー	1.05	光ファイバー
SIL-40C X3 オートサンプラー	1.05(1.04)	光ファイバー
SIL-40C XR オートサンプラー	1.05(1.08)	光ファイバー
LC-20AB バイナリ溶剤供給ユニット	該当なし	該当なし
LC-20AD ポンプ	3.11(1.04, 1.10, 1.07)	光ファイバー
LC-20AD XR ポンプ	1.21(1.20)	光ファイバー

表 B-7 : Shimadzu 装置 (続き)

周辺装置	テスト済みのファームウェア(その他のファームウェア ³⁾)	必要な通信ケーブル
LC-30AD ポンプ	3.21 (3.11)	光ファイバー
LC-40D ポンプ	1.06	光ファイバー
LC-40D XR ポンプ	1.06 (1.04)	光ファイバー
LC-40B XR ポンプ	1.04	光ファイバー
LC-40D X3 ポンプ	1.04	光ファイバー
LC-40B X3 ポンプ	1.06 (1.04)	光ファイバー
CTO-20AC カラムオープン	2.10 (2.03)	光ファイバー
CTO-30A カラムオープン	3.11	光ファイバー
CTO-40C カラムオープン	1.01 (1.00)	光ファイバー
CTO-40S カラムオープン	1.01 (1.00)	光ファイバー
SPD-20A UV-Vis 検出器	1.04	光ファイバー
SPD-40V UV-Vis 検出器	1.06 (1.04)	光ファイバー
SPD-M30A UV 検出器	3.11, 4.02	Ethernet ⁵
SPD-M40 PDA 検出器	2.00	Ethernet ⁵
RF-20A XS Fluorescence 検出器	2.02	光ファイバー
FCV-12AH バルブ	該当なし	該当なし
FCV-13AL バルブ	該当なし	該当なし
FCV-32AH バルブ	該当なし	該当なし
FCV-0206[H/H3]ドライブ付き流路切り替えバルブ	該当なし	該当なし
FCV-0607[H/H3]ドライブ付き流路切り替えバルブ	該当なし	該当なし
ドライブ付き FCV-S 流路切り替えバルブ(1 ボックス、1 バルブ)	1.02	該当なし
FCV-DR(ドライブ)	1.02	該当なし
LPGE-40(ミキサーなし)	1.02	該当なし
LC-40 リザーバースイッチングバルブ	1.02	該当なし

⁵ 検出器には、システムコントローラと取得コンピュータに接続するためにスイッチングハブが必要です。

表 B-7 : Shimadzu 装置 (続き)

周辺装置	テスト済みのファームウェア(その他のファームウェア ³⁾)	必要な通信ケーブル
FCV-11ALS LC-40 用溶剤選択バルブ(1 ポンプ)	1.02	該当なし
FCV-11AL LC-40 用溶剤選択バルブ(3 ポンプ)	1.02	該当なし
ラックチェンジャー II	2.0	光ファイバー
Nexera プレートチェンジャー	1.05	該当なし

Windows オペレーティングシステム設定

C

英語設定のみがサポートされています。

英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語の地域設定がサポートされています。

注: コンピュータがインターネットに接続されている場合は、推奨されるセキュリティガイドラインに従ってください。sciex.com/productsecurity にアクセスします。システムの機能がウイルスによって損なわれないよう、十分なウイルス保護対策が実施されていることを確認してください。

Windows Update

重要なセキュリティパッチがインストールされていることを確認することは、コンピュータのセキュリティを維持するために不可欠です。Windows Update の設定と使用については、以下のガイドラインに従ってください。

- Windows 10: Windows Update を通知のみに設定します。データ取得中にシステムに影響を与える可能性があるため、更新プログラムを自動的にダウンロードしてインストールしないでください。
- 通知を受け取ったら、できるだけ早く更新をダウンロードしてインストールしてください。
- 更新をインストールする際は次のことにご注意ください。
 - 取得と処理が完了するまで待ちます。
 - デバイスを非アクティブ化し、ClearCore2 サービスを停止します。
- すべての更新をインストールします。更新の結果として問題が発生した場合は、できるだけ早く sciex.com/contact-us または sciex.com/request-support で SCIEX に報告してください。

System Restore

デフォルトでは、Windows Task Scheduler は、深夜とコンピュータの起動時に System Restore を実行します。インストール プログラムは、IDA モードでの取得パフォーマンスを最適化するために、System Restore タスクを無効にします。

System Restore タスクがアクティブな場合、システムの速度が低下することがあります。IDA モードでの取得中にアクティブになると、サイクル時間が長くなり、ミリ秒から秒に増加する可能性があります。これにより、クロマトグラフィのピーク全体でポイントが少なくなる可能性があります。そのため、最適なパフォーマンスを得るために、System Restore タスクを無効にすることをお勧めします。

注: System Restore は、通常の操作やデータ処理のパフォーマンスには影響しません。

カスタマーセキュリティガイドランス: バックアップ

顧客データのバックアップは、顧客の責任です。SCIEX のサービスおよびサポート担当者は、顧客データのバックアップに関するアドバイスや推奨事項を提供する場合がありますが、お客様のポリシー、ニーズ、規制要件に従ってデータを確実にバックアップするかどうかは、お客様次第です。顧客データのバックアップの頻度と範囲は、組織の要件および生成されるデータの重要度に応じて決定する必要があります。

バックアップはデータ管理全体の重要なコンポーネントであり、悪意のある攻撃、ハードウェア障害、またはソフトウェア障害が発生した場合の復元に不可欠であるため、お客様はバックアップが機能することを確認する必要があります。データ取得中は、コンピュータのバックアップを取得しないでください。また、取得中のファイルがバックアップソフトウェアによって無視されるようにしてください。セキュリティアップデートのインストールやコンピュータの修理を行う前に、コンピュータの完全なバックアップを作成することを強くお勧めします。これにより、セキュリティパッチがアプリケーションの機能に影響を与えるというまれなケースでも、ロールバックが容易になります。

User Account Control Settings

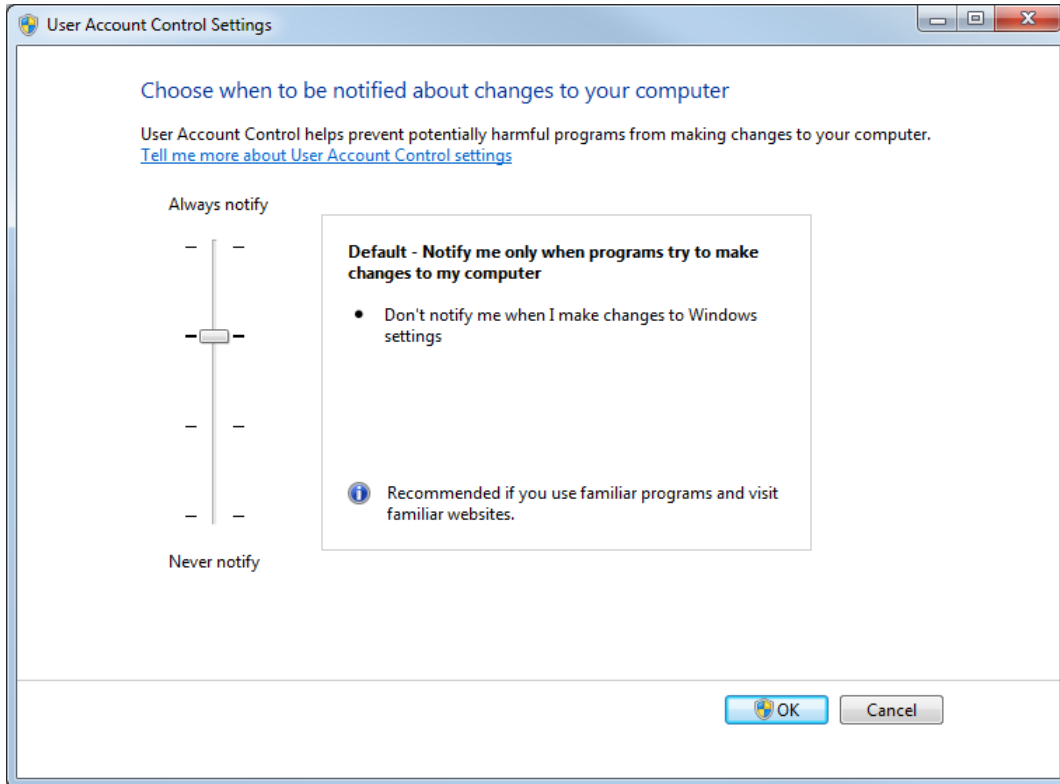
User Account Control Settings (Windows 10)

次の場合はデフォルトの User Account Control Settings を使用することをお勧めします (SCIEX OS 3.3.1 ソフトウェアを Windows 10(64 ビット)にインストールする場合) 管理者の場合、デフォルト設定は **Default - Notify me only when programs try to make changes to my computer** です。標準ユーザーの場合は **Always notify me** です。

取得コンピュータは、デフォルトの User Account Control Settings で構成されています。

1. Control Panel を開きます。
2. **Security and Maintenance > Change User Account Control settings** をクリックします。
User Account Control Settings ダイアログが開きます。
3. スライダーバーを必要なレベルに移動します。
4. 管理者の場合は、**Notify me only when programs try to make changes to my computer (default)** を選択し、**OK** をクリックします。

図 C-1 : User Account Control Settings : Administrator



5. 標準ユーザーの場合は、**Always notify me when** を選択し、**OK** をクリックします。

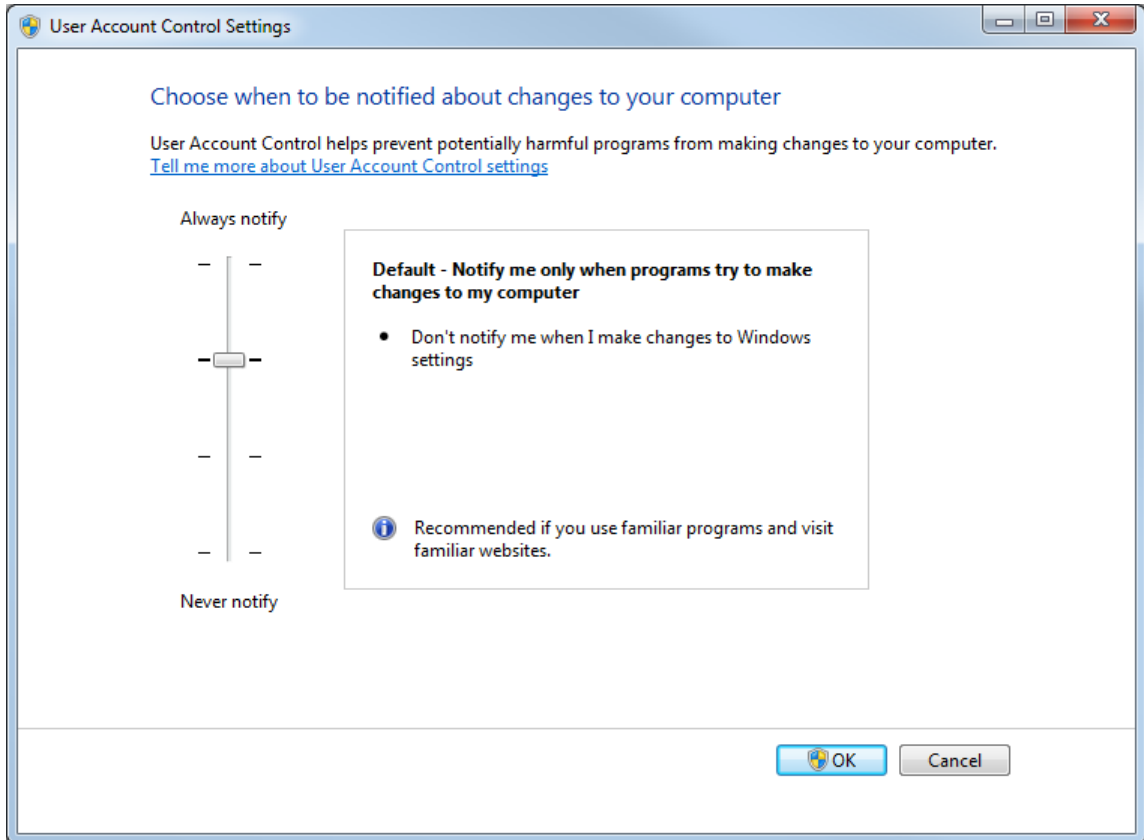
User Account Control Settings (Windows 7)

次の場合はデフォルトの User Account Control Settings を使用することをお勧めします (SCIEX OS ソフトウェアが Windows 7、64 ビット オペレーティング システムにインストールされている場合)。管理者の場合、デフォルト設定は **Default - Notify me only when programs try to make changes to my computer** です。標準ユーザーの場合は **Always notify me** です。

取得コンピュータは、デフォルトの User Account Control Settings で構成されています。

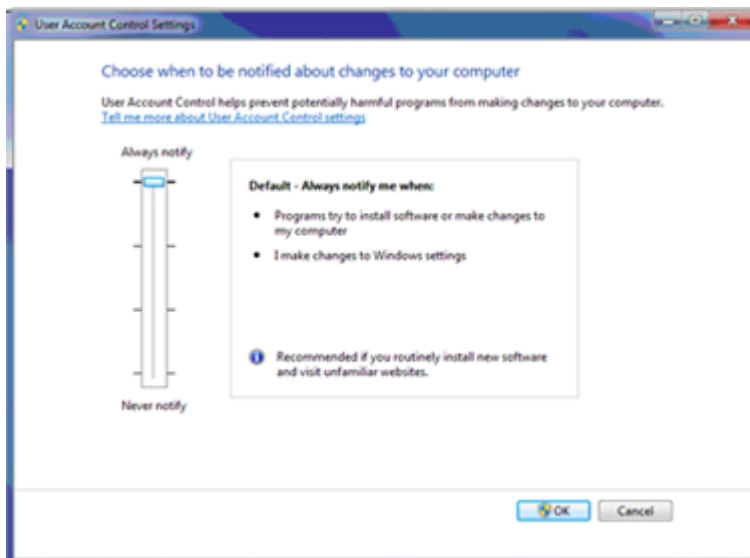
1. Control Panel を開きます。
2. **System and Security > Change User Account Control settings** をクリックします。User Account Control Settings ダイアログが開きます。
3. スライダーバーを必要なレベルに移動します。
4. 管理者の場合は、**Default - Notify me only when programs try to make changes to my computer** を選択し、**OK** をクリックします。

図 C-2 : User Account Control Settings : Administrator



5. 標準ユーザーの場合は、**Default – Always notify me when** を選択し、**OK** をクリックします。

図 C-3 : User Account Control Settings : 標準ユーザー



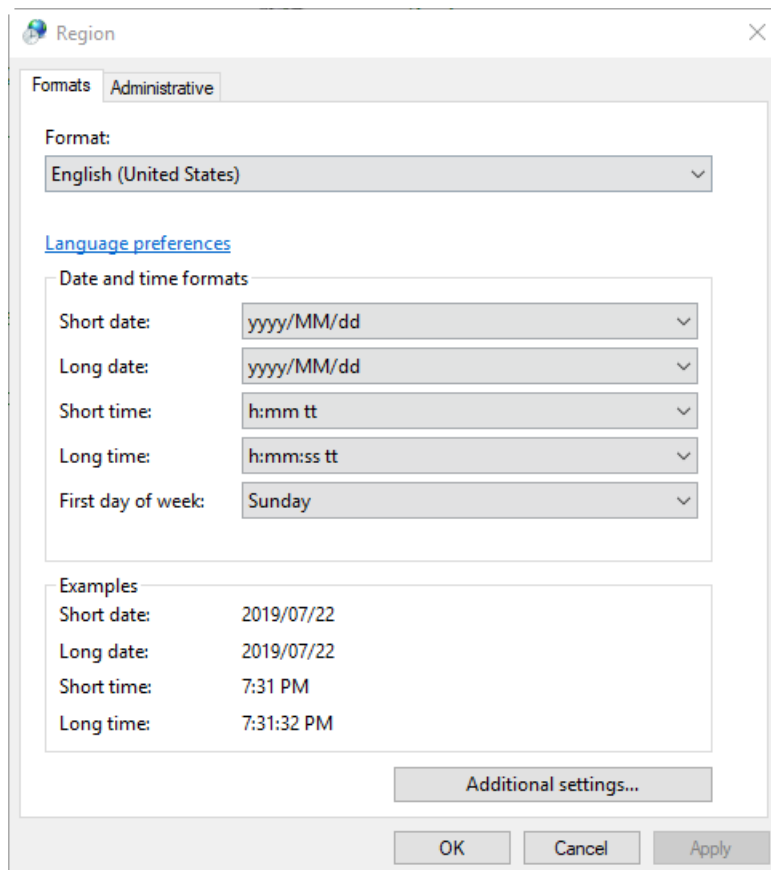
Region and Language Settings

Region の設定 (Windows 10)

注: **Format** フィールドを別の値に設定すると、ソフトウェアではファイル情報または監査証跡情報が不適切に表示される可能性があります。

1. Control Panel を開きます。
2. **Region** をクリックします。

図 C-4 : Region ダイアログ



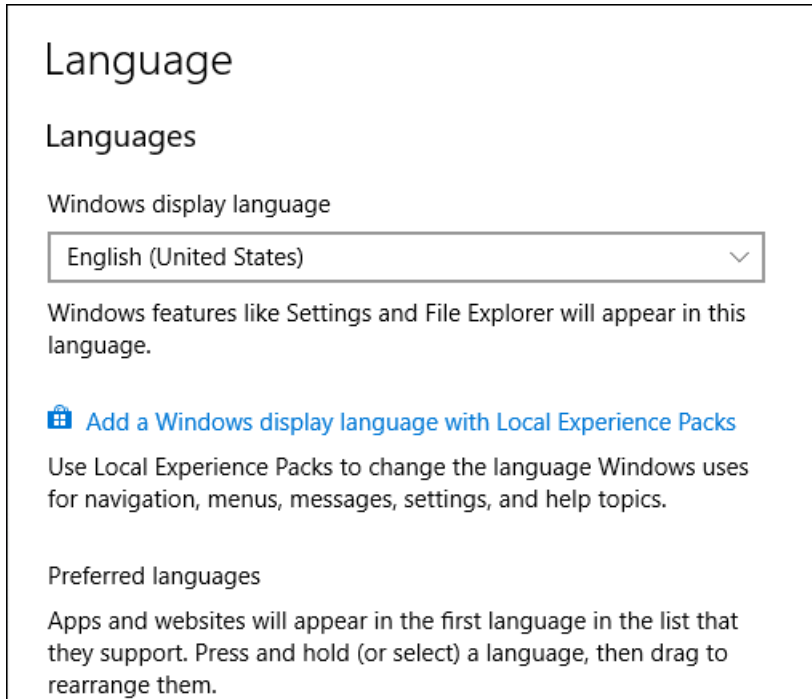
3. フォーマットフィールドが、**English (United States)**、**French (France)**、**German (Germany)**に設定されていることを確認します。
4. **Apply** をクリックします。
5. **OK** をクリックします。

Language の設定 (Windows 10)

注: **Windows display language** を別の値に設定すると、ソフトウェアではファイル情報または監査証跡情報が不適切に表示される可能性があります。

1. Control Panel を開きます。
2. **Region** をクリックします。
3. **Language preferences** をクリックします。

図 C-5 : Language ダイアログ



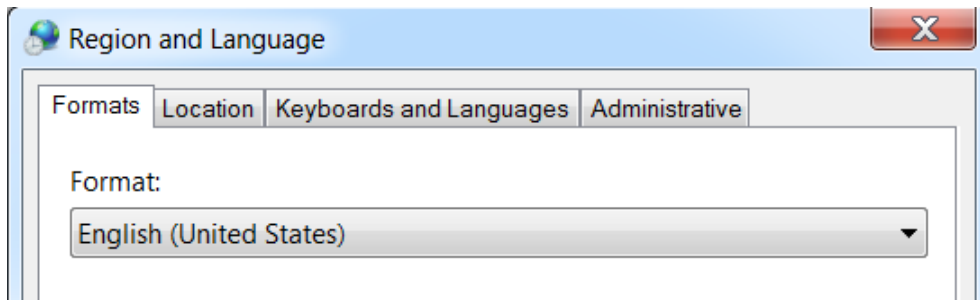
4. **Windows display language** には、**English (United States)**を選択します。

Region and Language Settings (Windows 7)

注: **Format** フィールドと **Default input language** フィールドを異なる値に設定すると、ソフトウェアがファイル情報または監査証跡情報を誤って表示する可能性があります。

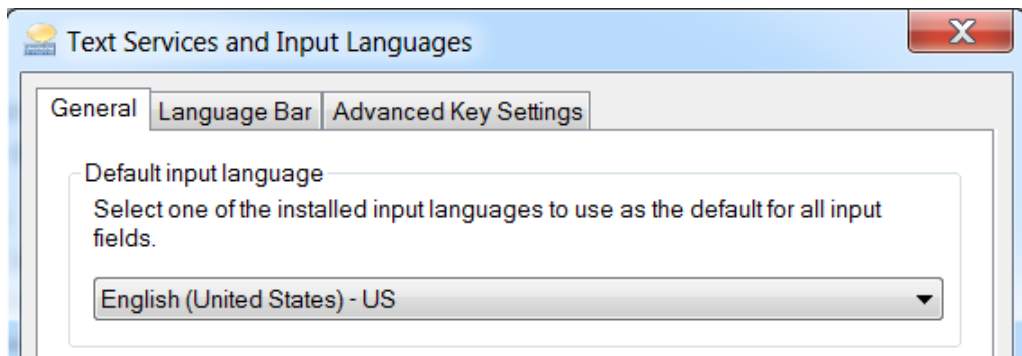
- Region and Language コントロールパネルを設定します。
 1. **Format** フィールドを、**English (United States)**、**French (France)**、**German (Germany)**、に設定します。

図 C-6 : Region and Language ダイアログ



2. Keyboards and Languages タブを開き、**Change Keyboards** をクリックします。
 3. **Apply** をクリックします。
 4. **OK** をクリックします。
- Text Services and Input Languages コントロールパネルを設定します。
 1. General タブで、デフォルトの入力言語として **English (United States) - US** を選択します。

図 C-7 : Text Services and Input Languages ダイアログ

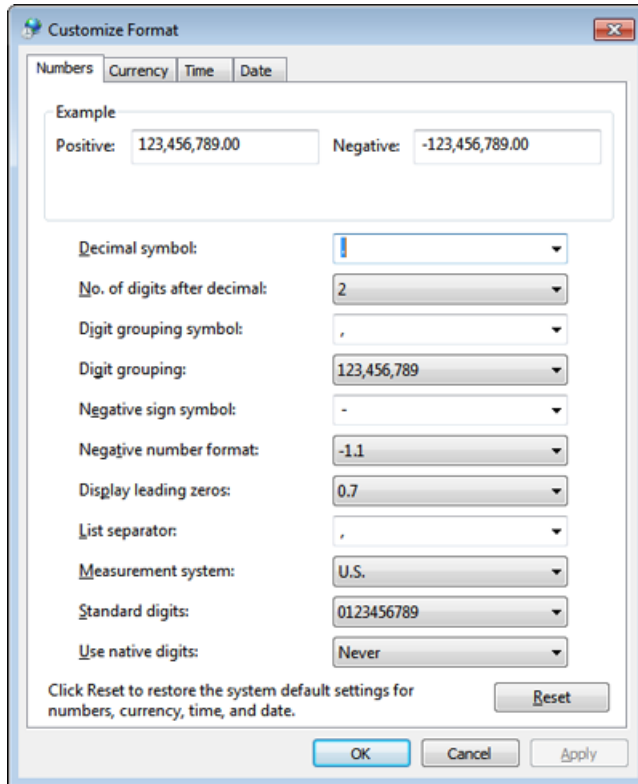


2. **Apply** をクリックします。
3. **OK** をクリックします。

ローカル設定

次の図に示すローカル設定のみがサポートされています。

図 C-8 : ローカル設定



ラベル	SCIEX OS ソフトウェアでサポートされています
Decimal symbol	「.」または「,」がサポートされています。
No. of digits after decimal	SCIEX OS ソフトウェアの数値フォーマットによって制御されます。
Digit grouping symbol	サポートされていません。
Digit grouping	サポートされていません。
Negative sign symbol	SCIEX OS ソフトウェアによって制御されます
Negative number format	サポートされていません。
Display leading zeros	サポートされていません。
List separator	サポートされていません。
Measurement system	サポートされていません。
Standard digits	サポートされていません。
Use native digits	サポートされていません。

Windows ファイアウォールの構成

D

SCIEX OS ソフトウェアは、TCP ポート 63333 および 44144 を使用して Central Administrator Console (CAC) サーバーに接続します。Windows Defender がファイアウォール ソフトウェア (デフォルト) として使用されている場合、このセクションの手順を使用して、CAC サーバーと SCIEX OS を備えたコンピュータの Windows ファイアウォール ポートを開きます。別のファイアウォール ソフトウェアを使用している場合は、そのソフトウェアに固有の手順を使用して、このポートを開きます。

受信接続の構成

SCIEX OS ソフトウェアがインストールされているコンピュータでは、ポート 63333 および 44144 が受信トラフィック用に開いている必要があります。Central Administrator Console (CAC) サーバーでは、ポート 63333 が受信トラフィック用に開いている必要があります。

1. Windows Defender Firewall with Advanced Security を開きます。
2. **Inbound Rules** メニューを右クリックし、**New Rule** をクリックします。Rule Type ページが開きます。
3. **Port** を選択し、**Next** をクリックします。Protocol and Ports ページが開きます。
4. 必要に応じて **Specific local ports** を設定し、**Next** をクリックします。
 - SCIEX OS ソフトウェア: **Specific local ports** を 63333, 44144 に設定します。
 - CAC ソフトウェア: **Specific local ports** を 63333 に設定します。Action ページが開きます。
5. **Allow the connection** を選択し、**Next** をクリックします。Profile ページが開きます。

注: Domain、Private、および Public プロファイルが選択されていることを確認します。

6. **Next** をクリックします。Name ページが開きます。
7. **Name** フィールドに CAC inbound connections と入力します。
8. **終了** をクリックします。

発信接続の構成

SCIEX OS ソフトウェアがインストールされているコンピュータでは、ポート 63333 が送信トラフィック用に開いている必要があります。Central Administrator Console (CAC) サーバーでは、送信トラフィック用にポート 44144 が開いている必要があります。

1. Windows Defender Firewall with Advanced Security を開きます。
2. **Outbound Rules** メニューを右クリックし、**New Rule** をクリックします。

Rule Type ページが開きます。

3. **Port** を選択し、**Next** をクリックします。
Protocol and Ports ページが開きます。
4. 必要に応じて **Specific local ports** を設定し、**Next** をクリックします。
 - SCIEX OS ソフトウェア: **Specific local ports** を 63333 に設定します。
 - CAC サーバー: **Specific local ports** を 44144 および 63333 に設定します。

Action ページが開きます。

5. **Allow the connection** を選択し、**Next** をクリックします。
Profile ページが開きます。

注: Domain、Private、および Public プロファイルが選択されていることを確認します。

6. **Next** をクリックします。
Name ページが開きます。
7. **Name** フィールドに CAC inbound connections と入力します。
8. **終了** をクリックします。

展開ツールを使用してソフトウェアをインストールする

E

SCIEX OS ソフトウェアのモジュラインストールには、この手順のコマンドラインを使用します。展開ツールを使用してインストール ファイルの場所からサイレント モードまたはパッシブ モードのコマンドを実行することにより、ソフトウェア モジュールをインストール、変更、修復、または削除できます。

```
setup.exe {/quiet | /passive} [/install=modules] [/add=modules] [/repair=all] [/remove=modules] [/uninstall=all]
```

表 E-1 : 要素と属性

値文字列	コメント
/quiet	ユーザーの操作なしでサイレント モードでインストールを実行します。
/passive	無人モードでソフトウェアのインストールを実行します。ユーザーには進捗バーのみが表示されます。
/install=module1、 module2	1 つまたは複数のソフトウェア モジュールをインストールします。モジュール コードのリストについては、次の表を参照: 表 E-2。
/add=module1、 module2	このソフトウェアバージョンの既存のインストールに 1 つ以上のソフトウェアモジュールをインストールします。モジュール コードのリストについては、次の表を参照: 表 E-2。
/repair=all	インストールされたソフトウェア モジュールを修復します。
/remove=module1、 module2	このソフトウェアバージョンの既存のインストールに 1 つ以上のソフトウェアモジュールをアンインストールします。モジュール コードのリストについては、次の表を参照: 表 E-2。
/uninstall=all	SCIEX OS ソフトウェアを削除します。

表 E-2 : ソフトウェアモジュール。

コード	ソフトウェアモジュール。
AG	Agilent ドライバー
AN	アナリティクスワークスペース (処理)
AQ	取得ワークスペース
CC	Central Administrator Console (CAC) (管理)
EC	Echo [®] MS システム
EX	ExionLC システム
M5	M5 MicroLC システム

表 E-2 : ソフトウェアモジュール。(続き)

コード	ソフトウェアモジュール。
MP	Molecule Profiler ソフトウェア(処理)
MV	MarkerView ソフトウェア(開始)
SH	Shimadzu ドライバー

例:サイレントインストールコマンド

```
Setup.exe /quiet /Install=MP
```

例:サイレント追加および削除コマンド

```
Setup.exe /quiet /Add=AQ,AG,SH,AN /Remove=MP
```

例:サイレント修復コマンド

```
Setup.exe /quiet /Repair=all
```

例:サイレントアンインストールコマンド

```
Setup.exe /quiet /Uninstall=all
```

例:パッシブインストールコマンド

```
Setup.exe /passive /Install=MP
```

例:パッシブ追加および削除コマンド

```
Setup.exe /passive /Add=AQ,AG,SH,AN /Remove=MP
```

例:パッシブ修復コマンド

```
Setup.exe /passive /Repair=all
```

例:パッシブアンインストールコマンド

```
Setup.exe /passive /Uninstall=all
```

SCIEX OS ソフトウェアのドキュメント

F

SCIEX OS ソフトウェアとともにインストールされるソフトウェア ガイドのリストについては、次の表を参照: 表 F-1。これらのガイドは以下からアクセスできます:

- Windows 10 オペレーティングシステム: **Start > SCIEX OS**
- Windows 7 オペレーティングシステム: **Start > All Programs > SCIEX OS**

ソフトウェアガイドは、<drive>:\Program Files\SCIEX\SCIEX OS\Documentation\にインストールされています。

表 F-1 : ソフトウェアドキュメント

文書	説明
ソフトウェアインストールガイド	ソフトウェアのインストール手順を説明します。ソフトウェアとともにインストールされます。
リリースノート	新機能とソフトウェアの問題について説明します。ソフトウェアとともにインストールされます。
ラボ管理者ガイド	SCIEX OS ソフトウェアのセキュリティと監査機能について説明します。ソフトウェアとともにインストールされます。
SCIEX OS ヘルプシステム	SCIEX OS ソフトウェアをセットアップして使用し、メソッドの作成、サンプルの取得、およびデータの分析を行うための手順について説明します。ソフトウェアとともにインストールされます。ヘルプシステムを表示するには、SCIEX OS ソフトウェアのヘルプボタンをクリックします。
CAC ヘルプ	Central Administrator Console (CAC)ソフトウェアを使用して、ユーザー、ワークグループ、ワークステーション、およびプロジェクトを管理する手順について説明します。ソフトウェアとともにインストールされます。ヘルプを表示するには、CAC ソフトウェアのヘルプボタンをクリックします。
装置セットアップガイド	SCIEX OS ソフトウェアによる質量分析装置の操作および制御のための装置の構成手順を提供します。 sciex.com/customer-documents で入手できます。
エクスプローラ TOF システムチュートリアル用	エクスプローラワークスペースを使用して TOF システムによって取得されたデータを分析するための手順を提供します。 sciex.com/customer-documents で入手できます。

ハードウェアガイドは、システムとイオン源の *Customer Reference* DVD 上でも配布されています。次の表に、これらのガイドを示します。

表 F-2 : ハードウェア文書

文書	説明
システムユーザーガイド	質量分析装置の操作やメンテナンス、SCIEX OS ソフトウェアの使用に関する情報が記載されています。
有資格保守要員ガイド	質量分析装置のクリーニングとメンテナンス手順について示されています。 注: 本ガイドの手順を実行できるのは、有資格者のみです。
装置セットアップガイド	周辺装置をコンピュータや機器に接続する手順が示されています。
Site Planning Guide	設置場所の準備方法、および機器の設置に必要な資料について説明します。
Turbo V イオン源オペレータガイド	(X500 QTOF および ZenoTOF システム) イオン源の取り付け手順について説明します。
IonDrive Turbo V イオン源オペレータガイド	イオン源の取り付け手順について説明します。
OptiFlow Turbo V イオン源オペレータガイド	(ZenoTOF システム) イオン源の取り付け手順について説明します。
OptiFlow Pro イオン源オペレータガイド	(SCIEX 7500 システム) イオン源の取り付け手順について説明します。

注: ドキュメントの最新版は SCIEX の web サイト(sciex.com/customer-documents) で入手できます。

お問い合わせ先

お客様のトレーニング

- 北米: NA.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパ: Europe.CustomerTraining@sciex.com
- ヨーロッパおよび北米以外: sciex.com/education

オンライン学習センター

- [SCIEX Now Learning Hub](#)

SCIEX サポート

SCIEX およびその代理店は、十分に訓練を受けた保守/技術専門要員を世界中に配置しています。システムまたは起こり得る技術的問題に関するご質問にお答えします。詳細な情報については、SCIEX web サイト (sciex.com) を参照するか、以下の連絡先までお問い合わせください。

- sciex.com/contact-us
- sciex.com/request-support

サイバーセキュリティ

SCIEX 製品のサイバーセキュリティに関する最新のガイダンスについては、sciex.com/productsecurity を参照してください。

ドキュメント

このバージョンのドキュメントは、以前のすべてのバージョンのドキュメントに優先します。

このドキュメントを電子的に閲覧するには Adobe Acrobat Reader が必要です。最新バージョンをダウンロードするには、次にアクセスしてください <https://get.adobe.com/reader>。

ソフトウェア製品のドキュメントについては、ソフトウェアに付属のリリースノートまたはソフトウェアインストールガイドを参照してください。

ハードウェア製品のマニュアルについては、システムまたはコンポーネントに付属の説明書を参照してください。

ドキュメントの最新版は SCIEX の web サイト (sciex.com/customer-documents) で入手できません。

注: このドキュメントの無料の印刷版を請求するには、sciex.com/contact-us までお問い合わせください。
